

透析情報標準 HL7 FHIR 記述仕様

Ver. 1.03

一般社団法人日本透析医学会

改訂履歴

日付	内容
2023/12/04	・初版 Ver1.00
2024/01/24	・JP_Device_Dailysis.property のスライス(静脈圧・透析液圧)の修正
2024/02/28	改訂 Ver1.01 ・リソース記述例の追加 ・血液 5-③血液透析の誤記修正 ・5-⑧透析機器の誤記修正
2024/05/14	・本標準規格のスコープステートメントに追記 ・一部、Extension.url に関する記載に URL を追記 ・アレルギー不適反応の有無を追記
2024/06/04	改訂 Ver1.02 ・個別の感染症検査を一つに統合 ・抗凝固剤を血液透析措置(Procedure.usedReference)から参照するための変更 ・抗凝固剤の単位の修正 ・Extension, Code System, Value Set の名称を修正
2024/07/10	改訂 Ver1.03 ・コードシステム、バリューセットに関する章を追加（仮を含む）
2024/07/14	・URI は暫定的であり今後改訂される旨を追記 ・血液型、体重の Code System、コード値の変更

目次

目次	3
本仕様書の位置づけ	5
本書の表記法	6
名称の表記	6
表現	6
データ項目表の表記	7
1. ドキュメント構造	9
① 透析情報標準化バンドル（プロファイル名: JP_Bundle_Dialysis）	10
② 透析情報標準化コンポジション（プロファイル名: JP_Composition_Dialysis）	12
2. 施設情報	15
① 医療施設（プロファイル名: JP_Organization_Dialysis）	15
② 医療従事者（プロファイル名: JP_Practitioner_Dialysis）	17
3. 患者情報	18
① 患者（プロファイル名: JP_Patient_Dialysis）	18
② 血液型 ABO（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO）	21
③ 血液型 Rh（プロファイル名: JP_Dialysis_BloodTypeRh）	22
4. 診療情報	23
① 透析導入日（プロファイル名: JP_Dialysis_Introduction）	23
② 禁忌薬（プロファイル名: JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine）	24
③ アレルギー（プロファイル名: JP_AllergyIntolerance_Dialysis）	25
④ ADL（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_ADL）	26
⑤ 感染症検査（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_InfectionTest）	27
⑥ 糖尿病有無（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_Diabetes）	28
⑦ 原疾患（プロファイル名: JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease）	29
⑧ CTR（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_CTR）	30
5. 透析条件	31
① 処置（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_Treatment）	31
② サービスリクエスト（プロファイル名: JP_ServiceRequest_Dialysis）	32
③ 血液透析（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis）	33
④ バスキュラーアクセス手術（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess）	37

⑤ 最終 PTA（プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_LastPTA）	38
⑥ 投与薬剤（プロファイル名: JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication）	39
⑦ 前回終了時体重（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight）	41
⑧ 透析機器（プロファイル名: JP_Device_Dialysis）	433
6. コードシステム及びバリューセット	55
① アレルギー・不応答反応の有無を表すコード	55
② 文書のセクションコード	55
③ 血液透析装置が扱うデータのコード	56
④ 透析形式のコード	58
⑤ 補液モードのコード	59
⑥ 投与薬剤の分類のコード	59
⑦ ADL 動作項目コード	60
⑧ ADL 移送動作の評価コード	60
⑨ 血液型 ABO のコード	61
⑩ 血液型 Rh のコード	61
⑪ 感染症検査のコード	62
⑫ 患者識別子のタイプコード	62
⑬ バスキュラーアクセスと穿刺の要素コード	63
7. 付録	64
1. 施設情報のリソース記述例	64
2. 患者情報のリソース記述例	66
3. 透析条件のリソース記述例	69

本仕様書の位置づけ

この仕様書は、HL7 FHIR（以下、FHIR という。）に準拠した透析情報標準規格の仕様を記述した文書であり、令和4年～5年度厚生労働行政推進調査事業費補助「透析情報の標準規格開発並びに透析診療施設間の連携を支援する標準化に関する研究」（課題番号22IA2013）（以下、厚生労働科学研究という。）の成果物を、以下に示す研究班組織が作成、編集したものであり、慢性透析患者の多くを占める血液透析患者を対象に、平時および災害時の情報共有を目的に作成したプロトコールである。

本 HL7 FHIR 記述仕様は、JP CORE ならびに FHIR R4 に基づいている。JP CORE の改訂、拡張に伴い、本 HL7 FHIR 記述仕様は改版されることがある。

本 HL7 FHIR 記述仕様の URI は、仮に <http://example.org> としているが、URI はおって改訂される。

厚生労働科学研究班組織

研究代表者・分担者

菊地 勘	医療法人社団豊済会下落合クリニック、一般社団法人日本透析医学会
宮崎 真理子	東北大学大学院医学系研究科腎・高血圧・内分泌学分野、一般社団法人日本透析医学会
山川 智之	公益社団法人日本透析医会
長沼 俊秀	大阪公立大学医学部附属病院人工腎部
峰島 三千男	順天堂大学医療科学部臨床工学科
岡田美保子	一般社団法人医療データ活用基盤整備機構（IDIAL）、研究代表者

研究協力団体・組織・協力者

一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会 (MTJAPAN)
岡谷 紀和 （ニプロ株式会社）
青島 正浩 （日機装株式会社）
一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）
電子カルテ委員会 太田 聡司（富士通 Japan 株式会社）
部門システム委員会 根来 秀明（株式会社ノーザ）

株式会社 SBS 情報システム社

長瀬 嘉秀	株式会社テクノロジックアート社
木村 雅彦	一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 相互運用性委員会
塩川 康成	一般社団法人日本 IHE 協会
清水 俊郎	株式会社 SBS 情報システム社
青木 美和	東京大学大学院医学系研究科博士課程在学、IDIAL 研究員

本書の表記法

名称の表記

記法	説明
[…]	[と] に囲まれている文字列は、FHIR リソース等の名称。 リソース名、プロフィール名、属性名、コードシステム名、コード名などに使用する。 例：[Patient]
[…. [.…]	名称は、"." によってパスを記述することができる。 あるリソースの要素。 例：[code.valueCodeableConcept.coding.system]
[-.…]	データ項目の表の説明文等でスコープとなる要素が明確である場合、その要素を"." として省略することができる。 例：[-.coding.system]
[…#…]	コードシステム、バリューセットの場合、# のあとにコードを指定することができる。 例：[ValueSet#a1234]
pr[…]	名称がプロフィールであることを明示
vs[…]	名称がバリューセットであることを明示
cs[…]	名称がコードシステムであることを明示
ex[…]	名称がエクステンションであることを明示
#code	コードシステム、もしくはバリューセットのコード値(<i>code</i>)
#code "display"	コードシステム、もしくはバリューセットのコード値(<i>code</i>)とその表示値(<i>display</i>)

表現

表記	説明
～を指定する	プロフィールによりルール等から項目の要素の値が決まっている固定値の場合の表現。 それ以外の値は不可である。
～を設定する	項目の要素の値が任意の値である場合の表現。

データ項目表の表記

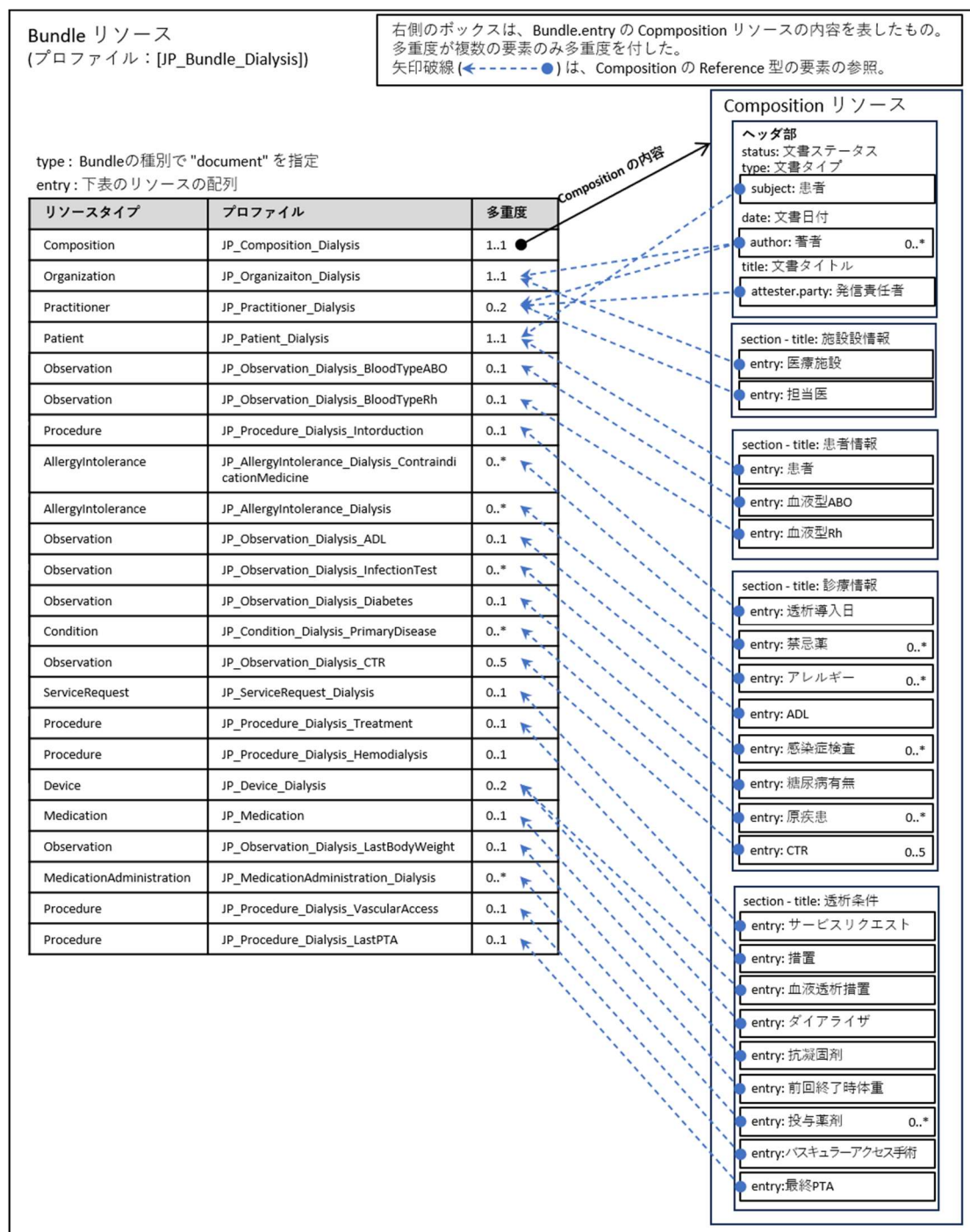
項目	説明
データ項目	<p>要素の値が対応する透析情報標準規格 HL7 FHIR 記述仕様の補足資料「透析情報標準データ項目 Ver1.0」のデータ項目名を表記している。</p> <p>インデント無しは、各カテゴリー（医療施設情報、患者情報、診療情報、透析条件）の次のレベルの項目名で、インデント有は、細項目名である。</p> <p>データ項目が空白の場合、それらの要素はデータ項目とは対応しないが、データ項目のルールとして必要な要素であるか、リソースの必須項目である。</p> <p>例) Observation リソースの status と code は必須。subject はどの患者の Observation であるかを保持するために必要。</p>
FHIR 要素	<p>プロフィールの要素名を表記している。</p> <p>下のレベルへの展開は表記していない。</p> <p>要素名[:スライス名[/サブスライス名]]</p> <p>リソース記述を行う場合は、スライス名とサブスライス名は不要であるが、リソースがプロフィールのルールと合致しているかどうかを検査することを目的としている。</p> <p>例) pr[JP_Organization_Dialysis]のエクステンションのスライス</p>  <p>参考まで、FHIR 実装ガイドでは、[Organization.extension]がスライスされており、その一つのスライス名が [prefectureNo] である。</p> <p>リソース記述で、この箇所は、次の通りスライス名は不要。</p> <pre> }, "extension" : [{ "url" : "http://jpfhir.jp/fhir/core/Extension/StructureDefinition/JP_Organization_PrefectureNo", "valueCoding" : { "system" : "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.21", "code" : "27", "display" : "大阪府" } }], </pre>

FHIR 要素タイプ	要素のタイプを表記している。 Reference の場合は、続く () 内に参照可能なターゲットとなるリソースタイプを記述している。
多重度	要素の多重度を表記している。
説明	要素の値の指定および設定の説明を記している。 下位レベルの要素に対する設定がある場合、トップの要素を“-”として省略している。 例: [-.coding.system]

1. ドキュメント構造

透析情報標準規格で送受信されるドキュメントは、FHIR の[Bundle]により構成する。

図 1-1



① 透析情報標準化バンドル（プロファイル名：JP_Bundle_Dialysis）

[JP_Bundle_Dialysis]は、[Bundle]を基に透析情報標準規格で定義されたプロファイルであり、透析情報標準規格で定義されたデータ項目のリソースを[-.entry]の配列として扱う。

バンドルのタイプは、“document”であり、1番目のエントリーは[JP_Composition_Dialysis]によりルール化された[Composition]リソースとなる。

2番目以降のエントリーは、本仕様書の2章以降の各リソースを保持する。

[Composition]リソースを含め各エントリーにはUUID（Universally Unique Identifier）を付番し、[-.entry.fullUrl]に設定し、[-.entry.resource]にリソース本体を設定する。

表 1-① 透析情報標準化バンドルのデータ項目

FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
type	code	1..1	バンドルのタイプ。 [type]に vs[BundleType]のコード値#document を指定する。
entry:composition	BackboneElement	1..1	コンポジション [-.resource]は、JP_Composition_Dialysis のリソース
entry:organization	BackboneElement	1..1	医療施設 [-.resource]は、JP_Organization_Dialysis のリソース
entry:practitioner	BackboneElement	0..2	医療従事者 担当医、発信責任者 [-.resource]は、JP_Practitioner_Dialysis のリソース
entry:patient	BackboneElement	1..1	患者 [-.resource]は、JP_Patient_Dialysis のリソース
entry:bloodTypeABO	BackboneElement	0..1	血液型 ABO [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO のリソース
entry:boodTypeRh	BackboneElement	0..1	血液型 Rh [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh のリソース
entry:introduction	BackboneElement	0..1	透析導入日 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_Introduction のリソース
entry:contraindicationMedicine	BackboneElement	0..*	禁忌薬 [-.resource]は、 JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine のリソース
entry:allergyIntolerance	BackboneElement	0..*	アレルギー [-.resource]は、JP_AllergyIntolerance_Dialysis のリソース
entry:adl	BackboneElement	0..1	ADL [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_ADL のリソース
entry:infectionTest	BackboneElement	0..*	感染症検査 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_InfectionTest のリソース
entry:diabetes	BackboneElement	0..1	糖尿病有無 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_Diabetes のリソース
entry:primaryDisease	BackboneElement	0..*	原疾患 [-.resource]は、JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease のリソース
entry:ctr	BackboneElement	0..5	CTR [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_CTR のリソース
entry:treatment	BackboneElement	0..1	処置（血液透析、バスキュラーアクセス、PTA の上位処置） [-.resource]は、 JP_Procedure_JP_Procedure_Dialysis_Treatment のリソース

entry:serviceRequest	BackboneElement	0..1	サービスリクエスト（処置のオーダー） [-.resource]は、JP_ServiceRequest_Dialysis のリソース
entry:device	BackboneElement	0..2	医療機器 透析装置、ダイアライザ
entry:hemodialysis	BackboneElement	0..1	血液透析処置 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis のリソース
entry:anticoagulant	BackboneElement	0..1	抗凝固剤 [-.resource]は、JP_Medicine のリソース
entry:lastBodyWeight	BackboneElement	0..1	前回終了時体重 [-.resource]は、JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight のリソース
entry:medication	BackboneElement	0..*	投与薬剤 [-.resource]は、JP_MedicationAdministration_Dialysis のリソース
entry:vascularAccess	BackboneElement	0..1	バスキュラーアクセス手術処置 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess のリソース
entry:lastPta	BackboneElement	0..1	最終 PTA 処置 [-.resource]は、JP_Procedure_Dialysis_LastPTA のリソース

② 透析情報標準化コンポジション（プロファイル名：JP_Composition_Dialysis）

[JP_Composition_Dialysis]は、[Composition]を基に透析情報標準規格で定義されたプロファイルである。

[JP_Composition_Dilaysis]リソースは、[JP_Bundle_Dialysis.entry]の1番目のエントリーとなり、透析情報標準規格のドキュメントの構成を定義し、各構成の内容に対応する2番目以降の各リソースへの参照を取り扱う。バンドルが保持している各リソースへの参照の設定は、[Bundle.entry.fullUrl]に設定されたUUIDを[-.section.entry.reference]に設定し、[Bundle.entry.resource]のリソースを定義しているURIを[-.section.entry.type]に設定する。

表 1-② 透析情報標準化コンポジションのデータ項目

FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
status	code	1..1	コンポジションのステータス [status]に vs[JP_CompositionStatus]から選択したコード値を設定する。
type	CodeableConcept	1..1	文書のタイプ LOINCを仮使用 [-.coding.system]に LOINC の URL(http://loinc.org)を指定する。 [-.coding.code]に vs[FHIRDocumentTypeCodes]のコード値 # 29749-9 を指定する。 [-.coding.display]に選択したコードの表示値の"Dialysis records"を指定する。
subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に、[JP_Bundle_Dialysis.entry:patient.fullUrl]を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を設定する。
date	dateTime	1..1	文書作成日付 [date]に文書を作成した日付を設定する。
author	Reference(JP_Practitioner_Dialysis or JP_Organization_Dialysis)	1..*	文書作成者
title	string	1..1	文書タイトル
attester	BackboneElement	1..1	発信責任情報 [-.mode]に vs[JP_CompositionAttestationMode]から選択したコード値を設定する。 [-.party.reference]に発信責任者 [JP_Bundle_Dialysis.entry:practioner.fullUrl]の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Practitioner_Dialysis]の URI を設定する。

section:medicalFacility	BackboneElement	1..1	医療施設情報セクション [-.code]で本スライスが、医療施設情報セクションであるために vs[JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_VS]のコード #medicalFacility を指定するために、 cs[JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_CS]のコード #medicalFacility のコード値、コードシステム、表示値を [-.code.coding.system]、[-.code.coding.code]、 [-.code.coding.display]に指定する。
section:medicalFacility .entry:organization	Reference(JP_Organiz ation_Dialysis)	1..1	医療施設
section:medicalFacility .entry:practioner	Reference(JP_Practitio ner_Dialysis)	0..1	担当医
section:patient	BackboneElement	1..1	患者情報セクション [-.code]で本スライスが、患者情報セクションであるために vs[JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_VS]のコード #patient を指定するために、 cs[JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_CS]のコード #patient のコード値、コードシステム、表示値を [-.code.coding.system]、[-.code.coding.code]、 [-.code.coding.display]に指定する。
section:patient.entry:p atient	Reference(JP_Patient_ Dialysis)	1..1	患者の参照
section:patient.entry:b loodType/abo	Reference(JP_Observa tion_Dialysis_BloodTy peABO)	0..1	血液型 ABO の参照
section:patient.entry:b loodType/rh	Reference(JP_Observa tion_Dialysis_BloodTy peRh)	0..1	血液型 Rh の参照
section:clinicalInfo	BackboneElement	0..1	診療情報セクション [-.code]で本スライスが、患者情報セクションであるために vs[JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_VS]のコード #clinicalInfo を指定するために、 cs[JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_CS]のコード #clinicalInfo のコード値、コードシステム、表示値を [-.code.coding.system]、[-.code.coding.code]、 [-.code.coding.display]に指定する。
section:disgnosis.entry :introduction	Reference(JP_Procedu re_Dialysis_Introducti on)	0..1	透析導入の参照
section:disgnosis.entry :contraindicationMedici ne	Reference(JP_AllergyI ntolerance_Dialysis_C ontraindictionMedicine)	0..*	禁忌薬の参照
section:disgnosis.entry :allergyIntolerance	Reference(JP_AllergyI ntolerance_Dialysis)	0..*	アレルギーの参照
section:disgnosis.entry :adl	Reference(JP_Observa tion_Dialysis_ADL)	0..1	ADL の参照
section:disgnosis.entry :infectionTest	Reference(JP_Observa tion_Dialysis_Infection Test)	0..*	感染症検査の参照
section:disgnosis.entry :diabetes	Reference(JP_Observa tion_Dialysis_Diabetes)	0..1	糖尿病有無の参照

section:disgnosis.entry: primaryDisease	Reference(JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease)	0..*	原疾患の参照
section:disgnosis.entry: ctr	Reference(JP_Observation_Dialysis_CTR)	0..5	CTR の参照
section:condition	BackboneElement	0..1	透析条件セクション [-.code]で本スライスが、透析条件セクションであるとするために vs[JP_Composistion_Dialysis_DocumentSection_VS]のコード #condition を指定するために、 cs[JP_Composistion_Dialysis_DocumentSection_CS]のコード #condition のコード値、コードシステム、表示値を [-.code.coding.system]、[-.code.coding.code]、 [-.code.coding.display]に指定する。
section:condition.entry: treatment	Reference(JP_Procedure_JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..1	上位処置の参照
section:condition.entry: serviceRequest	Reference(JP_ServiceRequest_Dialysis)	0..1	サービスリクエストの参照（透析曜日のため）
section:condition.entry: device	Reference(JP_Device_Dialysis)	0..1	透析装置の参照 血液透析装置、ダイアライザ
section:condition.entry: anticoagulant	Reference(JP_Medication)	0..1	抗凝固剤
section:condition.entry: lastBodyWeight	Reference(JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight)	0..1	前回終了時体重の参照
section:condition.entry: medication	Reference(JP_MedicationAdministration_Dialysis)	0..*	投与薬剤の参照
section:condition.entry: hemodialysis	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis)	0..1	血液透析処置の参照
section:condition.entry: VascularAccess	Reference(JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess)	0..1	バスキュラーアクセス手術処置の参照
section:condition.entry: lastPta	Reference(JP_Procedure_Dialysis_LastPTA)	0..1	PTA 処置の参照

2. 施設情報

① 医療施設（プロファイル名: JP_Organization_Dialysis）

[JP_Organization_Dialysis]は、[JP_Organization]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

施設情報の医療施設識別子、医療施設名、医療施設住所、医療施設連絡先、担当者連絡先の担当者名、施設連絡先メールアドレスのデータを取り扱う。

施設情報の担当医名、及び担当者連絡先の発信責任者は、医療従事者を参照

表 2-① 医療施設のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
医療施設識別子 医療施設番号	identifier:medicalInstitutionCode	Identifier	0..*	医療施設識別子の医療施設番号 10 桁の保険医療施設番号で、都道府県番号(2 桁) + 点数表コード(1 桁) + 医療機関コード(7 桁) を結合したもの [-.system]に、 URL(http://jpfhir.jp/fhir/core/IdSystem/insurance-medical-institution-no)を指定する。 [-.value]に保険医療施設番号を設定する。
医療施設名 医療施設名	name	string	0..1	医療施設の正式名
医療施設住所 郵便番号 市町村 市町村以降	address	Address	0..*	医療施設の住所 [-.postalCode]に郵便番号を設定する。 [-.city]に市町村名を設定する。 [-.line]に市町村名以降の住所を設定する。
医療施設住所 都道府県コード	extension:prefectureNo	Coding	0..1	都道府県番号を表す 2 桁のコード値 (extension) [-.url]に、 ex[JP_Organization_PrefectureNo]の URI を 指定する。(JP Core ImplementationGuide 参照) [-.valueCoding.system]に都道府県番号を表す OID の URI (urn:oid:1.2.392.100495.20.3.21) を指定 する。 [-.valueCoding.code]に vs[JP_PrefectureNumber_VS]から選択したコー ド値を設定する。

<p>担当者連絡先</p> <p>担当者名</p> <p>施設連絡先メールアドレス</p>	contact	ContactPoint	0..*	<p>担当者連絡先</p> <p>担当者名がカタカナ表記か漢字表記かは医療施設依存である。</p> <p>担当者名の多重度は、0..1 であるため、どちらかの表記で設定する。</p> <p>カタカナか漢字かは、ex[EN Representation] を利用している。</p> <p>[-.name.extension:nameRepresentationUse.url]に ex[EN Representation]の URL (http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso-21090-EN-representation) を指定する。</p> <p>カタカナ氏名の場合は、[-.extension.valueCode] に vs [NameRepresentationUse]の#SYL を指定する。</p> <p>漢字氏名の場合は、[-.extension.valueCode] に パリューセット[NameRepresentationUse]の#IDE を指定する。</p> <p>[-.family]に担当者名の姓の部分を設定する。</p> <p>[-.given]に担当者名の名の部分を設定する。</p> <p>姓及び名が複数ある場合は、[-.given]の配列要素として設定する。</p> <p>姓と名が分割困難な場合は、[-.text]のみ設定する。</p> <p>[-.telecom.system]に vs[ContactPointSystem]のコード値#email を指定する。</p> <p>[-.telecom.value]にメールアドレスを設定する。</p>
---	---------	--------------	------	---

② 医療従事者（プロファイル名：JP_Practitioner_Dialysis）

[JP_Practitioner_Dialysis]は、[JP_Practitioner] を透析情報標準規格で定義された項目、及び項目が取り得るデータを制約するプロファイルである。

施設情報の担当医名、及び施設連絡先の発信責任者名のデータを取り扱う。

表 2-② 医療従事者のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
担当医名 担当医名 担当者連絡先 発信責任者名	name	JP_HumanName	0..2	<p>医療従事者の氏名</p> <p>多重度が 0..2 となっており、カタカナ氏名と漢字氏名の 2 つの name の値を保持する。</p> <p>カタカナ氏名、漢字氏名の分別のために、ex[EN Representation]を利用している。</p> <p>[-.extension:nameRepresentationUse.url]には ex[EN Representation]の URL(http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation)を指定する。</p> <p>カタカナ氏名の場合は、 [-.extension:nameRepresentationUse.valueCode] に vs[NameRepresentationUse]の#SYL を指定する。</p> <p>漢字氏名の場合は、 [-.extension:nameRepresentationUse.valueCode] に vs[NameRepresentationUse]の#IDE を指定する。</p> <p>[-.family]に姓名の姓の部分を設定する。 [-.given]に姓名の名の部分を設定する。 [-.text]にフルネームを設定する。</p>

3. 患者情報

① 患者（プロファイル名： JP_Patient_Dialysis）

[JP_Patient_Dialysis]は、[JP_Patient] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

患者情報の患者識別子、患者氏名、患者生年月日、患者性別、患者住所、患者電話番号、緊急連絡先のデータを取り扱う。

患者情報の血液型は血液型 ABO、及び血液型 Rh を参照

表 3-① 患者のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
患者識別子 医療施設患者 ID 保険者番号 被保険者番号	Identifier	Identifier	1..3	<p>患者識別子 患者識別子には、医療施設患者 ID、保険者番号、被保険者番号がある。</p> <p>[-.type.coding.system]には、 cs[JP_Patient_Dialysis_IdentifierType_CS]の URI を設定する。</p> <p>医療施設患者 ID の場合、 [-.type.coding.code]に vs[JP_Patient_Dialysis_IdentifierType_VS]のコード値 #facilityPatientID を指定する。</p> <p>保険者番号の場合、 [-.type.coding.code]に vs[JP_Patient_Dialysis_IdentifierType_VS]のコード値 #insurerNumber を指定する。</p> <p>被保険者番号の場合、 [-.type.coding.code]に vs[JP_Patient_Dialysis_IdentifierType_VS]のコード値 #insuredPersonNumber を指定する。</p> <p>[-.value]に患者識別子の値を文字列で設定する。</p>

患者氏名 姓カタカナ 名カタカナ 姓漢字 名漢字	name	JP_HumanName	0..2	<p>患者の氏名 カタカナ氏名と漢字氏名の2つの name の値を保持する。</p> <p>カタカナ氏名、漢字氏名の分別のために、ex[EN Representation] を利用している。 [-.extension:nameRepresentationUse.url]に ex[EN Representation]の URL (http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation) を指定する。</p> <p>カタカナ氏名の場合は、[-.extension.valueCode] に vs [NameRepresentationUse]の#SYL を指定する。 漢字氏名の場合は、[-.extension.valueCode] にバリューセット [NameRepresentationUse]の#IDE を指定する。</p> <p>[-.family]に姓名の姓の部分を設定する。 [-.given]に姓名の名の部分を設定する。 姓及び名が複数ある場合は、[-.given]の配列要素として設定する。 [-.text]にフルネームを設定する。 姓と名が分割困難な場合は、[-.text]のみ設定する。</p> <p>以下に、[name]を JSON で記述した例を示す。 <pre>{ "name" : [{ "extension" : [{ "url" : "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation", "valueCode" : "IDE" }], "family" : ["山田","スミス"] "name" : "花子" "text" : "山田 スミス 花子" }]</pre> </p>
患者生年月日 生年月日	birthDate	date	0..1	<p>患者の生年月日</p> <p>[birthDate]に年月日のフォーマット（“YYYY-MM-DD”）で生年月日を設定する。</p>
患者生年月日 年齢	extension:age	unsignedInt	0..1	<p>患者の年齢</p> <p>[-.url]に ex[JP_Patient_Dialysis_Age]の URL(http://example.org/StructureDefinition/jp-patient-dialysis-age) を指定する。 [-.valueUnsignedInt]に年齢を設定する。</p>
患者性別 患者性別	gender	code	0..1	<p>患者の性別</p> <p>[gender]に vs [AdministrativeGender]から選択したコード値を設定する。 性別は、男性 #male、女性 #female、その他 #other、不明 #unknown から指定する。</p>

患者住所 都道府県コード 市町村 市町村以降	address	Address	0..1	患者の住所 都道府県番号には、ex[JP_Patient_Dialysis_AddressPrefectureNo]を使用している。本来、JP Core の ex[JP_Organization_PrefectureNo]を利用すべきところであるが、ex[JP_Organization_PrefectureNo]のコンテキストが Organization リソースに制約されていて Patient に使用することができないため、ex[JP_Organization_PrefectureNo]からコンテキスト制約を外し、ex[JP_Patient_Dialysis_AddressPrefectureNo]として定義している。 [-.extension:prefectureNo.url]に ex[JP_Patient_Dialysis_AddressPrefectureNo]の URL を指定する。 [-.extension:prefectureNo.valueCoding.system]に都道府県番号を表す OID「1.2.392.100495.20.3.21」を指定する。 [-.extension:prefectureNo.valueCoding.code]に vs[JP_PrefectureNumber_VS]から選択した都道府県番号 2 桁のコード値を設定する。 [-.city]に市町村名を設定する。 [-.line]に市町村以降の住所を設定する。
患者電話番号 自宅電話番号 携帯電話番号	telecom	ContactPoint	0..2	患者の連絡電話番号（自宅、及び携帯電話） [-.system]に vs[ContactPointSystem]の#phone を設定する。 自宅電話の場合、 [-.use]に vs[ContactPointUse]の#home を設定する。 携帯電話の場合、 [-.use]に vs[ContactPointUse]の#mobile を設定する。 [-.value]に電話番号を文字列で設定する。
緊急連絡先 家族等氏名 患者との間柄 連絡先電話番号	contact	BackboneElement	0..*	患者の家族等の連絡先 [-.relationship.coding.system]には、cs[contactRole2]の uri(http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v2-0131)を指定する。 [-.relationship.coding.code]に vs[PatientContactRelationship]から選択したコード値を設定する。 [-.name.family]に姓名の姓を設定する。 [-.name.given]に姓名の名を設定する。 [-.telecom.system]に vs[ContactSystem]のコード値#phone を指定する。 [-.telecom.value]に電話番号を設定する。

② 血液型 ABO (プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO)

[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

患者情報の血液型の血液型 ABO のデータを取り扱う。

患者情報の血液型の血液型 Rh については、血液型 Rh を参照

表 3-② 血液型 ABO の項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
血液型 血液型 ABO	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>血液型 ABO 式の血液型</p> <p>[valueCodeableConcept.system]に JAHIS 標準テーブル JHSC 表 0001(患者プロファイル ABO 血液型)の URI(urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1)を指定する。</p> <p>[valueCodeableConcept.code]に vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO_VS]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[valueCodeableConcept.display]に vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO_VS.Display]を設定する。</p> <p>vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO_VS]は、JAHIS 標準テーブル JHSC 表 0001(患者プロファイル ABO 血液型)に準じる。</p> <p>vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO_VS]には次のコードが定義されている。</p> <p>コード値 表示値 :</p> <p>#A "A 型"</p> <p>#B "B 型"</p> <p>#O "O 型"</p> <p>#AB "AB 型"</p> <p>#U "不明"</p>
	status	Code	1..1	<p>結果値のステータス</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final を指定する。</p>
	code	CodeableConcept	1..1	<p>血液型 ABO のコード値</p> <p>JLAC10 を使用</p> <p>#5H010000001910114 が血液型 ABO 式のコード値。</p> <p>[-.coding.system]に JLAC10 の URI(urn:oid:1.2.392.200119.4.504)を指定する。</p> <p>[-.coding.code]に#5H010000001910114 を指定する。</p> <p>[-.coding.display]に"血液型-ABO 式"を指定する。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。</p> <p>[-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

③ 血液型 Rh (プロファイル名: JP_Dialysis_BloodTypeRh)

[JP_Dialysis_BloodTypeRh]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

患者情報の血液型の血液型 Rh のデータを取り扱う。

患者情報の血液型の血液型 ABO については、血液型 ABO を参照

表 3-③ 血液型 RH の項目

項目名	FHIR 要素名	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
血液型 血液型 Rh	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>血液型 Rh 式の血液型</p> <p>[valueCodeableConcept.system]に JAHIS 標準テーブル JHSC 表 0002(患者プロファイル Rh 血液型)の URI(urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.2)を指定する。</p> <p>[valueCodeableConcept.code]に vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh_VS]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[valueCodeableConcept.display]に選択したコード値の vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh_VS.display]を設定する。</p> <p>vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh_VS]は、JAHIS 標準テーブル JHSC 表 0002(患者プロファイル Rh 血液型)に準じる。</p> <p>vs[JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh_VS]には次のコードが定義されている。</p> <p>コード値 表示値 :</p> <p>#+ "Rh(+)型"</p> <p>#- "Rh(-)型"</p> <p>#U "不明"</p>
	status	Code	1..1	<p>結果値のステータス</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final を設定する。</p>
	code	CodeableConcept	1..1	<p>血液型 Rh のコード値</p> <p>JLAC10 を使用</p> <p>5H020000001910114 が血液 Rh 式のコード値</p> <p>[-.coding.system]に JLAC10 の URI(urn:oid:1.2.392.200119.4.504)を指定する。</p> <p>[-.coding.code]に#5H020000001910114 を指定する。</p> <p>[-.coding.display]に" 血液型-Rh 式"を指定する。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。</p> <p>[-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

4. 診療情報

① 透析導入日（プロファイル名：JP_Dialysis_Introduction）

[JP_Dialysis_Introduction]は、[JP_Procedure]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
診療情報の透析導入日のデータを取り扱う。

表 4-① 透析導入日のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
透析導入日 透析導入日	performed[x]	dateTime	0..1	透析導入日 [performedDateTime]に透析導入日をフォーマット （"YYYY-MM-DD"）で設定する。
透析導入日 透析導入日に係る コメント	note	Annotation	0..1	透析導入日に係るコメント [.text]に透析導入に係るコメントを設定する。 FHIR データ型は Annotation であるが、文書受信者は、 [.text]を平文として取り扱い、マークダウン表記の影響を受けないように取り扱わなければならない。
	status	Code	1..1	透析導入日のデータのステータス [status]に vs[EventStatus]のコード値#completed を指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [.reference]に患者のリソース （[JP_Bundle_Dialysis.entry]）の URI を設定する。 [.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

② 禁忌薬（プロファイル名：JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine）

[JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ContraindicationMedicine]は、[JP_AllegryIntolerance] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の禁忌薬のデータを取り扱う。

1つのリソースが1つの禁忌薬データを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 4-② 禁忌薬のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
禁忌薬 禁忌薬	code	CodeableConcept	1..1	<p>医薬品のアレルギー不耐症の識別コードもしくはテキスト</p> <p>禁忌薬のコードが明確な場合 [<code>-.coding.system</code>]に JFAGY アレルゲンコード（医薬品）のコードシステムの URI(http://jpfhir.jp/fhir/core/CodeSystem/JP_JfagyMedicationAllergen_CS)を指定する。 [<code>-.coding.code</code>]に vs[JP_AllergyIntolerance_VS]から選択したコード値を設定する。 [<code>-.coding.display</code>]に選択したコード値の vs[JP_AllergyIntolerance_VS.display]の文字列を設定する。</p> <p>禁忌薬のコードが不明な場合 [<code>-.text</code>]に禁忌薬の記述を設定する。</p>
	category	code	0..1	<p>アレルギーのカテゴリ</p> <p>[<code>category</code>]に vs[AllergyIntoleranceCategory]のコード値#medication を指定する。</p>
	patient	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	<p>患者の参照</p> <p>[<code>-.reference</code>]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [<code>-.type</code>]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

③ アレルギー（プロファイル名： JP_AllergyIntolerance_Dialysis）

[JP_AllergyIntolerance_Dialysis]は、[JP_AllergyIntolerance] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報のアレルギーのデータを取り扱う。

1つのリソースが1つのアレルギーデータを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 4-③ アレルギーのデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明								
アレルギー 不適反応 の有無	extension :reaction Presence	Extension	1..1	<p>アレルギーの不適反応の有無</p> <p>[<code>-.url</code>]に <code>ex[JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ReactionPresence]</code>の URL を指定する。</p> <p>[<code>-.valueCodeableConcept</code>]に <code>vs[JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ReactionPresence_VS]</code>から選択したコード値を設定する。</p> <p><code>vs[JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ReactionPresence_VS]</code> には次のコードが定義されている。</p> <table><tr><td>コード値</td><td>表示値</td></tr><tr><td>#yes</td><td>“あり”</td></tr><tr><td>#no</td><td>“なし”</td></tr><tr><td>#unknown</td><td>“不明”</td></tr></table>	コード値	表示値	#yes	“あり”	#no	“なし”	#unknown	“不明”
コード値	表示値											
#yes	“あり”											
#no	“なし”											
#unknown	“不明”											
アレルギー 不適反応 ありの内容	code	BackboneElement	1..1	<p>アレルギーに関する記述</p> <p>アレルギーのコードが明確な場合</p> <p>[<code>-.coding.code</code>]に <code>vs[JP_AllergyIntolerance_VS]</code>から選択したコード値を設定する。</p> <p>[<code>-.coding.system</code>]に選択したコード値の <code>vs[JP_AllergyIntolerance_VS.system]</code>の URI を設定する。</p> <p>[<code>-.coding.display</code>]に選択したコード値の <code>vs[JP_AllergyIntolerance_VS.display]</code>の文字列を設定する。</p> <p>[<code>-.text</code>]にアレルギー不適反応あり内容をテキストで設定する。</p> <p>アレルギーのコードが不明な場合</p> <p>[<code>-.text</code>] にアレルギー不適反応あり内容をテキストで設定する。</p>								
	patient	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	<p>患者の参照</p> <p>[<code>-.reference</code>]に患者のリソース([<code>JP_Bundle_Dialysis.entry</code>])の URI を設定する。</p> <p>[<code>-.type</code>]に <code>pr[JP_Patient_Dialysis]</code>の URI を指定する。</p>								

④ ADL（プロファイル名：JP_Observation_Dialysis_ADL）

[JP_Observation_Dialysis_ADL]は、[JP_Observation_Common]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報のADLのデータを取り扱う。

表 4-④ ADL のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明										
ADL ADL	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>ADL の患者移送区分の評価</p> <p>[valueCodeableConcept.coding.system]に cs[JP_Observation_Dialysis_ADL_ValueOfMobility_CS]の URI を指定する。 [valueCodeableConcept.coding.code]に vs[JP_Observation_Dialysis_ADL_ValueOfMobility_VS]から選 択したコードのコード値を設定する。 [valueCodeableConcept.coding.display]に vs[JP_Observation_Dialysis_ADL_ValueOfMobility VS.Display]から選択したコードのコード値を設定する。</p> <p>vs[JP_Observation_Dialysis_ADL_ValueOfMobility_VS]には、 次のコードが定義されている。</p> <table><tr><td>コード値</td><td>表示値</td></tr><tr><td>#carried</td><td>“担送”</td></tr><tr><td>#escort</td><td>“護送”</td></tr><tr><td>#onfoot</td><td>“独歩”</td></tr><tr><td>#undefined</td><td>“未定義”</td></tr></table>	コード値	表示値	#carried	“担送”	#escort	“護送”	#onfoot	“独歩”	#undefined	“未定義”
コード値	表示値													
#carried	“担送”													
#escort	“護送”													
#onfoot	“独歩”													
#undefined	“未定義”													
	status	code	1..1	<p>ADL 情報の状態</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final を指定する。</p>										
	code	CodeableConcept	1..1	<p>ADL 動作のスコープ</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Observation_Dialysis_ADL_Code_CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[JP_Observation_Dialysis_ADL_Code_VS]のコード値 #mobility を指定する。 [-.coding.display]に“移送”を指定する。</p> <p>vs[JP_Observation_Dialysis_ADL_Code_VS]には、現在 #mobility のみ定義されている。</p>										
	subject	Reference(JP_Patient _Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>										

⑤ 感染症検査（プロファイル名：JP_Observation_Dialysis_InfectionTest）

[JP_Observation_Dialysis_InfectionTest]は、[JP_Observation_Common]を基に透析情報標準で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
診療情報の感染症の感染症検査の結果、感染症検査を実施した年月日のデータを取り扱う。

表 4-⑤ 感染症検査のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明																
感染症 感染症検査結果	value[x]	string	0..1	感染症検査の結果 [valueString]に検査結果を設定する。																
感染症 感染症検査年月日	effective[x]	dateTime	0..1	感染症検査の年月日 [effectiveDateTime]に感染症検査年月日を設定する。																
	status	code	1..1	検体検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]の#finalを指定する。																
	code	CodeableConcept	1..1	感染症検査のコード [-.coding.system]に JALC10 の臨床検査コードを表す OID の URI（urn:oid:1.2.392.200119.4.504）を指定する。 [-.coding.code]に、 vs[JP_Observation_Dialysis_InfectionTest_VS] から選 択したコードのコード値を設定する。 [-.coding.display]に vs[JP_Observation_Dialysis_InfectionTest_VS]から選 択したコードの表示値を設定する。 現在、vs[JP_Observation_Dialysis_InfectionTest_VS] には、次のコードが定義されている。 <table><thead><tr><th>コード値</th><th>表示値</th></tr></thead><tbody><tr><td>#5F016141002305111</td><td>"感染症(HBsAg)検査"</td></tr><tr><td>#5F016143002305111</td><td>"感染症(HBsAb)検査"</td></tr><tr><td>#5F018143002305111</td><td>"感染症(HBcAb)検査"</td></tr><tr><td>#5F015144102386211</td><td>"感染症(HBV DNA)検査"</td></tr><tr><td>#5F360148002305111</td><td>"感染症(HCV Ab)検査"</td></tr><tr><td>#5F360145302300011</td><td>"感染症(HCV RNA)検査"</td></tr><tr><td>#5F500143002305111</td><td>"感染症(HIV Ab)検査"</td></tr></tbody></table>	コード値	表示値	#5F016141002305111	"感染症(HBsAg)検査"	#5F016143002305111	"感染症(HBsAb)検査"	#5F018143002305111	"感染症(HBcAb)検査"	#5F015144102386211	"感染症(HBV DNA)検査"	#5F360148002305111	"感染症(HCV Ab)検査"	#5F360145302300011	"感染症(HCV RNA)検査"	#5F500143002305111	"感染症(HIV Ab)検査"
コード値	表示値																			
#5F016141002305111	"感染症(HBsAg)検査"																			
#5F016143002305111	"感染症(HBsAb)検査"																			
#5F018143002305111	"感染症(HBcAb)検査"																			
#5F015144102386211	"感染症(HBV DNA)検査"																			
#5F360148002305111	"感染症(HCV Ab)検査"																			
#5F360145302300011	"感染症(HCV RNA)検査"																			
#5F500143002305111	"感染症(HIV Ab)検査"																			
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。																

⑥ 糖尿病有無（プロファイル名： JP_Observation_Dialysis_Diabetes）

[JP_Observation_Dialysis_Diabetes]は、[JP_Observation_Common] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
診療情報の糖尿病有無のデータを取り扱う。

表 4-⑥ 糖尿病有無のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
糖尿病有無 糖尿病	value[x]	CodeableConcept	0..1	<p>糖尿病の有無</p> <p>[valueCodeableConcept.coding.system]に cs[ExpandedYesNoIndicator]の URI を指定する。 [valueCodeableConcept.coding.code]に vs[HI7VSYesNoIndicator]から選択したコード値を設定する。 [valueCodeableConcept.coding.display]に選択したコード値の vs[HI7VSYesNoIndicator.display]を設定する。</p> <p>vs[HI7VSYesNoIndicator]のコード値は、#Y、#N の 2 つ。#Y は糖尿病有として、#N は糖尿病なしとする。</p>
	status	Code	1..1	<p>糖尿病有無データの状態</p> <p>[status]に vs[ObservationStatus]の#final”を指定する。</p>
	code	CodeableConcept	1..1	<p>糖尿病有無を識別する検査項目のコード</p> <p>LOINC を仮使用 LOINC#33248-6 が糖尿病ステータスのコード値 [-.coding.system]に LOINC コードシステムの URI(http://loinc.org) を指定する。 [-.coding.code]にコード値 # 33248-6 を指定する。 [-.coding.display]に“Diabetes status [Identifier]”を指定する。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。</p>

⑦ 原疾患（プロファイル名：JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease）

[JP_Condition_Dialysis_PrimaryDisease]は、[JP_Condition] を基に透析情報標準規格の診療情報で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
 診療情報の原疾患の原疾患名のデータを取り扱う。
 1つのリソースが1つの原疾患データを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 4-⑦ 原疾患のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
原疾患 原疾患名	Code	CodeableConcept	1..1	原疾患名 [-.text]に原疾患名を設定する。
	Subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

⑧ CTR（プロファイル名：JP_Observation_Dialysis_CTR）

[JP_Observation_Dialysis_CTR]は、[DialysisObseration] を基に透析情報標準規格の診療情報で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

診療情報の CTR の CTR、検査日、透析前後区分のデータを取り扱う。

CTR は最大 5 回までの記録を記載することから、CTR のリソースは最大 5 個作成することができる。

表 4-⑧ CTR のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
CTR CTR	value[x]	Quantity	0..1	CTR 値 [valueQuantity.value]に CTR 値を設定する。 [valueQuantity.unit]に“percent”を指定する。 [valueQuantity.system]に UCUM の URI(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [valueQuantity.code]に“%”を指定する。
CTR 検査日	effective[x]	dateTime	0..1	CTR 検査日 [effectiveDateTime]に CTR 検査日を設定する。
	Status	code	1..1	CTR 検査の状態 [status]に vs[ObservationStatus]のコード値#final を指定する。
	Subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する[-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

5. 透析条件

① 処置（プロファイル名：JP_Procedure_Dialysis_Treatment）

[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格で定義された処置行為関連の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

処置は、患者の血液透析の上位の情報であり、毎回の血液透析に関する情報をまとめる。

透析条件情報の発信施設における透析開始日、発信施設における最終透析日のデータを取り扱う。

処置が参照するサービスリクエストには、透析条件情報の透析曜日のデータがある。

表 5-① 処置のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
発信施設における透析開始日 発信施設における透析開始日 発信施設における最終透析日 発信施設における最終透析日	performed[x]	Period	0..1	発信施設における透析開始日と最終透析日 [performedPeriod.start]に発信施設における透析開始日時を設定する。 [performedPeriod.end]に発信施設における最終透析日時を設定する。
	basedOn	Reference(JP_ServiceRequest_Dialysis)	0..*	透析曜日を保持するサービスリクエストの参照先 [-.reference]にサービスリクエストのリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pf[JP_ServiceRequest_Dialysis]を指定する。
	status	Code	1..1	[status]に、vs[EventStatus]の #completed を指定する。
	code	CodeableContext	0..1	措置コード [-.text] に“血液透析をまとめる上位処置”と指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

② サービスリクエスト（プロファイル名：JP_ServiceRequest_Dialysis）

[JP_ServiceRequest_Dialysis]は、[ServiceRequest] を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
透析条件の透析曜日のデータを取り扱う。

表 5-② サービスリクエストの項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
透析曜日 透析曜日	occurrence[x]	Timing	0..1	透析を行う曜日 透析曜日をコードで設定する場合は、 [occurrenceTiming.repeat.dayOfWeek]に vs[DaysOfWeek]から 選択したコード値を設定する。 [occurrenceTiming.repeat.dayOfWeek]は、0..* の配列であり、複 数の曜日を設定することができる。 透析曜日を文字列で設定する場合は、 [occurrenceTiming.code.text]に透析曜日を自由に記述する。
	Status	code	1..1	サービスリクエストのステータス [status]に vs[RequestStatus]の#completed を指定する。
	Intent	code	1..1	リクエストの種類 [intent]に vs[RequestIntent]の#order を指定する。
	Subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照先 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

③ 血液透析（プロファイル名：JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis）

[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis]は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格の透析条件で定義された血液透析の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

血液透析は、処置の下位の医療行為であり、個々の血液透析に関する情報を扱う。

透析条件の抗凝固剤の抗凝固剤、バスキュラーアクセス、穿刺のデータを取り扱う。

血液透析は、使用する装置（データ項目では明示されていない）の設定/実績の属性、ダイアライザに関する情報を参照している。

表 5-③ 血液透析のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
バスキュラーアクセス 形式	followUp:accessType	CodeableConcept	0..1	<p>バスキュラーアクセスの形式</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_CS]の URI を指定する。 [-coding.code]に vs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_VS]のコード値#type を指定する。 [-.coding.display]に“バスキュラーアクセス形式”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]にバスキュラーアクセスの形式の内容を設定する。</p>
バスキュラーアクセス 場所 1	followUp:accessPlace1	CodeableConcept	0..1	<p>バスキュラーアクセスの場所 1</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_VS]のコード値#place1 を指定する。 [-.coding.display]に“バスキュラーアクセス: 場所 1”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContnet]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]にバスキュラーアクセスの場所 1 の内容を設定する。</p>

バスキュラーアクセス 場所 2	followUp:accessPlace2	CodeableConcept	0..1	<p>バスキュラーアクセスの場所 2</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_VS]のコード値#place2 を指定する。 [-.coding.display]に“バスキュラーアクセス: 場所 2”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]にバスキュラーアクセスの場所 2 の内容を設定する。</p>
穿刺 穿刺針 A 側	followUp:punctureA	CodeableConcept	0..1	<p>穿刺針 A 側</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_VS] のコード値#a を指定する。 [-.coding.display]に“穿刺 A 側”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]に穿刺 A 側の内容を設定する。</p>
穿刺 穿刺針 V 側	followUp:punctureV	CodeableConcept	0..1	<p>穿刺針 V 側</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_VS] のコード値#v を指定する。 [-.coding.display]に“穿刺 V 側”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]に穿刺 V 側の内容を設定する。</p>

<p>穿刺</p> <p>穿刺に関する申し送り</p>	followUp:punctureTransfer	CodeableConcept	0..1	<p>穿刺に関する申し送り</p> <p>[-.coding.system]に cs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_CS]の URI を指定する。 [-.coding.code]に vs[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUp_VS] のコード値#transfer を指定する。 [-.coding.display]に“穿刺に関する申し送り事項”を指定する。</p> <p>[-.extension:content.url]に ex[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent]の URI を指定する。 [-.extension:content.valueString]に穿刺に関する申し送りの内容を設定する。</p>
<p>ダイアライザ</p>	usedReference	Reference(JP_Device_Dialysis)	0..*	<p>ダイアライザの参照</p> <p>[-.reference]にダイアライザのリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pf[JP_Device_Dialysis]の URI を指定する。</p> <p>ダイアライザは、参照先の [JP_Device_Dialysis.deviceName]の値となる。</p>
<p>抗凝固剤</p> <p>抗凝固剤</p>	usedReference	Reference(JP_Medication)	0..*	<p>使用した抗凝固剤</p> <p>[-.reference]に抗凝固剤のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pf[JP_Medication]の URI を指定する。</p> <p>抗凝固剤は、参照先インスタンスの [JP_Medication.code.text]に使用した抗凝固剤の内容を設定する。</p>
	part of	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..1	<p>血液透析が属するの処置の参照</p> <p>[-.reference]に上位の処置のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]の URI を指定する。</p>
	status	Code	1..1	<p>血液透析の状態</p> <p>[status]に vs[EventStatus]の#completed を指定する。</p>

	code	CodeableConcept	0..1	<p>血液透析の処置のコード</p> <p>[-.text]に“血液透析”を指定する。</p> <p>仮にコードに ICD-9-CM を使用する場合、 [-.coding.system]に ICD-9-CM の URI(urn:oid:2.16.840.1.113883.6.2)を指 定する。 [-.coding.code]に # 3995 を指定する。 [-.coding.display]に“血液透析”を指定する。</p> <p>※JP_Procedure の [-.coding:medical.system]は、 cs[JP_ProcedureCodesMedical_CS]を指 定している。血液透析のコードがある場合は、そ のコードを用いる。</p>
	subject	Reference(JP_Patient_Di alysis)	1..1	<p>患者の参照</p> <p>[-.reference]に患者のリソース ([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定 する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を 指定する。</p>
	focalDevice	BackbornElement	0..1	<p>血液透析装置の参照</p> <p>[-.manipulated.reference]に血液透析装置の リソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pf[JP_Device_Dialysis]の URI を 指定する。</p>

④ バスキュラーアクセス手術（プロファイル名：JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess）

[JP_Procedure_Dialysis_VascularAccess]バスキュラーアクセス手術は、[JP_Procedure]を基に透析情報標準規格の透析条件で定義されたバスキュラーアクセス手術日の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

バスキュラーアクセス手術は、血液透析を構成する下位の医療行為である。

透析条件のバスキュラーアクセス手術日のデータを取り扱う。

表 5-④ バスキュラーアクセス手術のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
バスキュラーアクセス手術日 バスキュラーアクセス手術日	performed[x]	dateTime	0..1	バスキュラーアクセス手術を行った日時 [performedDateTime]にバスキュラーアクセス手術を行った日時を設定する。
	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..*	バスキュラーアクセス手術が属する処置の参照 [-.reference]に血液透析のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]の URI を指定する。
	status	code	1..1	バスキュラーアクセス手術の状態 [status]に、vs[EventStatus]の#completed を指定する。
	code	CodeableConcept	0..1	バスキュラーアクセス手術の処置コード [-.text]に”バスキュラーアクセス手術”を指定する。 仮にコードに ICD-9-CM を使用する場合、 [-.coding.system]に ICD-9-CM の URI(urn:oid:2.16.840.1.113883.6.2)を指定する。 [-.coding.code]に#3927 を指定する。 [-.coding.display]に”バスキュラーアクセス手術”を指定する。 ※JP_Procedure の [-.coding:medical.system]は、 cs[JP_ProcedureCodesMedical_CS]を指定しており、ここにシ バスキュラーアクセス手術のコードがある場合は、そのコードを使用する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

⑤ 最終 PTA (プロファイル名: JP_Procedure_Dialysis_LastPTA)

[JP_Procedure_Dialysis_LastPTA]は、[JP_Procedure] を基に透析情報標準規格の透析条件で定義された最終 PTA の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

最終 PTA は、血液透析の下位の医療行為である。

透析条件の最終 PTA のデータを取り扱う。

表 5-⑤ 最終 PTA のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
最終 PTA 最終 PTA	performed[x]	dateTime	0..1	最終 PTA の実施日 [performedDateTime]に最新の PTA 術を行った日を設定する。
	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Treatment)	0..1	PTA が属する処置の参照 [-.reference]に血液透析のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Procedure_Dialysis_Treatment]の URI を指定する。
	status	code	1..1	PTA の状態 [status]に、vs[EventStatus]の#completed を指定する。
	code	CodeableConcept	0..1	PTA の処置コード [-.text]に“PTA”を指定する。 仮にコードに ICD-9-CM を使用する場合、 [-.coding.system]に ICD-9-CM の URI(urn:oid:2.16.840.1.113883.6.2)を指定する。 [-.coding.code]に#3949 を指定する。 [-.coding.display]に“PTA”を指定する。 ※JP_Procedure の [-.coding:medical.system]は、 cs[JP_ProcedureCodesMedical_CS]を指定。ここに PTA のコードがある場合は、そのコードに変更する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])の URI を設定する。 [-.type]に pr[JP_Patient_Dialysis]の URI を指定する。

⑥ 投与薬剤（プロファイル名：JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication）

[JP_MedicationAdministration_Dialysis_Medication]は、[JP_MedicationAdministration]を基に透析情報標準規格の透析条件で定義された投与薬剤の項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

透析条件の投与薬剤のデータを取り扱う。

1つのリソースが1つの投与薬剤データを取り扱うため、必要に応じて複数のリソースを作成する。

表 5-⑥ 投与薬剤のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
投与薬剤 ESA ビタミン D 製剤 カルシメテックス 鉄製剤 カルニチン製剤 その他	medication[x]:medicationCodeableConcept	CodeableConcept	0..*	投与薬剤のコード [-.coding.code]に vs[JP_MedicationCode_VS]から 選択したコードのコード値を設定する。 [-.coding.system]に vs[JP_MedicationCode_VS]から 選択したコードのシステム値を設定する。 [-.coding.display]に vs[JP_MedicationCode_VS]から 選択したコードの表示値を設定する。 投与薬剤が 6 種類のいずれの分類の リソースになるかは [extension:medicationClass] の コード値により分類される。

	extension:medicationClass	CodeableConcept	1..1	<p>投与薬剤の分類コード</p> <p>投与薬剤を ESA、ビタミン D 製剤、カルシメティクス、鉄製剤、カルニチン製剤、その他の 6 種に分類する。</p> <p>[-.url]に ex[JP_MidicationAdministration_Dialysis_MedicationClass]を指定する。</p> <p>[-.valueCodeableConcept.coding.system]に cs[JP_MeidcationAdministration_Dialysis_MedicationClass_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCodeableConcept.coding.code]に vs[JP_MedicationAdministration_Dialysis_MedicationClass_VS]から選択したコードのコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCodeableConcept.coding.display]に vs[JP_MedicationAdministration_Dialysis_MedicationClass_VS]から選択したコードの表示値を設定する。</p> <p>vs[JP_MedicationAdministration_Dialysis_MedicationClass_VS]には、次のコードが定義されている。</p> <table><tr><td>コード値</td><td>表示値</td></tr><tr><td>#esa</td><td>“ESA”</td></tr><tr><td>#vitaminD</td><td>“ビタミン D 製剤”</td></tr><tr><td>#calcimimetics</td><td>“カルシメティクス”</td></tr><tr><td>#iron</td><td>“鉄製剤”</td></tr><tr><td>#carnitine</td><td>“カルニチン製剤”</td></tr><tr><td>#other</td><td>“その他”</td></tr></table>	コード値	表示値	#esa	“ESA”	#vitaminD	“ビタミン D 製剤”	#calcimimetics	“カルシメティクス”	#iron	“鉄製剤”	#carnitine	“カルニチン製剤”	#other	“その他”
コード値	表示値																	
#esa	“ESA”																	
#vitaminD	“ビタミン D 製剤”																	
#calcimimetics	“カルシメティクス”																	
#iron	“鉄製剤”																	
#carnitine	“カルニチン製剤”																	
#other	“その他”																	
	identifier	Identifier	2..*	<p>処方オーダに対する ID(MedicationRequest からの継承)</p> <p>JP_MedicationAdministration で定義されている必須要素でカーディナリティが 2 つ以上</p> <p>詳細は JP Core ImplementationGuide を参照</p>														

	partOf	Reference(JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis)	0..1	投与薬剤が属する血液透析の参照 [-.reference]に血液のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])のURIを設定する。 [-.type]にpr[JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis]のURIを指定する。
	status	Code	1..1	投与薬剤の状態 [status]にvs[EventStatus]の#completedを指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	1..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])のURIを設定する。 [-.type]にpr[JP_Patient_Dialysis]のURIを指定する。

⑦ 前回終了時体重（プロファイル名: JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight）

[JP_Observation_Dialysis_LastBodyWeight]は、[JP_Observation_Common]を基に透析情報標準規格で定義された項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。
透析条件の前回終了時体重のデータを取り扱う。

表 5-⑦ 前回終了時体重のデータ項目

データ項目	FHIR 要素	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
前回終了時体重 前回終了時体重	value[x]	Quantity	0..1	前回終了時の体重 [valueQuantity.value]に体重を設定する。 [valueQuantity.unit]に“kiroglam”を指定する。 [valueQuantity.system]に UCUM のURI(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [valueQuantity.code]に“kg”を指定する。
	status	code	1..1	前回終了時体重の状態 [status]にvs[ObservationStatus]のコード値#finalを指定する。
	code	CodeableConcept	1..1	体重計測値を表すコード [-.coding.system]に J1AC10 のURI(urn:oid:1.2.392.200119.4.504)を指定する。 [-.coding.code]に#9N0060000000000001を指定する。 [-.coding.display]に“体重”を指定する。
	subject	Reference(JP_Patient_Dialysis)	0..1	患者の参照 [-.reference]に患者のリソース([JP_Bundle_Dialysis.entry])のURIを設定する。 [-.type]にpr[JP_Patient_Dialysis]のURIを指定する。

	effective[x]	dateTime	0..1	体重計測日 [effectiveDateTime]に体重を計測した日を設定する。
--	--------------	----------	------	---

⑧ 透析機器（プロファイル名：JP_Device_Dialysis）

[JP_Device_Dialysis]は、[Device]を基に透析情報標準規格の透析条件で定義され透析装置、及びダイアライザの項目、及び項目のデータを制約するプロファイルである。

透析機器がダイアライザの場合、ダイアライザ（の名称）のデータを取り扱う。

透析機器が透析装置の場合、透析装置のパラメータのデータを取り扱う。

抗凝固剤の抗凝固剤は、血液透析の要素にあるので血液透析を参照。

[Device]のその他の要素には、必要に応じて診療情報提供書・退院時サマリーHL7 FHIR 記述仕様第1版用「リソース記述に関する共通表」の<<表 9Device リソース 医療機器情報>>

(https://std.jpfhir.jp/std/doc/commonTablesFHIR_v1x.html#表9) の仕様に準拠して記述する。

表 5-⑧ 透析機器のデータ項目

項目名	FHIR 要素名	FHIR 要素タイプ	多重度	説明
透析時間 透析時間	property:dialysisTime	BackboneElement	0..1	<p>透析時間</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-C1 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析時間”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に透析時間を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“minure”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に #min を指定する。</p>

透析形式 透析形式	property:dialysisMode	BackboneElement	0..1	<p>透析形式</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-B3 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析形式”を指定す る。</p> <p>[-.valueCode.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_PropertyDialysisMo de_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_PropertyDialysisMo de_VS]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.display]に選択したコード 値の表示値を指定する。</p> <p>vs[JP_Device_Dialysis_PropertyDialysisMo de_VS]には次のコードが定義されている。</p> <table><tr><td>コード値</td><td>表示値</td></tr><tr><td>#0</td><td>“HD”</td></tr><tr><td>#1</td><td>“ECUM”</td></tr><tr><td>#2</td><td>“HDF”</td></tr><tr><td>#3</td><td>“HF”</td></tr><tr><td>#4</td><td>“OHDF(オンライン HDF)”</td></tr><tr><td>#5</td><td>“I-HDF”</td></tr><tr><td>#6</td><td>“O/I-HDF(オンライン I-HDF)”</td></tr><tr><td>#7</td><td>“予備（未使用） ”</td></tr></table>	コード値	表示値	#0	“HD”	#1	“ECUM”	#2	“HDF”	#3	“HF”	#4	“OHDF(オンライン HDF)”	#5	“I-HDF”	#6	“O/I-HDF(オンライン I-HDF)”	#7	“予備（未使用） ”
コード値	表示値																					
#0	“HD”																					
#1	“ECUM”																					
#2	“HDF”																					
#3	“HF”																					
#4	“OHDF(オンライン HDF)”																					
#5	“I-HDF”																					
#6	“O/I-HDF(オンライン I-HDF)”																					
#7	“予備（未使用） ”																					

補液モード	property:replacementMode	BackboneElement	0..1	<p>補液モード(補液選択)</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #TC-D1 を指定する。 [-.type.coding.display]に“補液モード”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_PropertyReplacementMode_CS]の URI を指定する。 [-.valueCode.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_PropertyReplacementMode_VS]から選択したコード値を設定する。 [-.valueCode.coding.display]に選択したコード 値の表示値を指定する。</p> <p>vs[JP_Device_Dialysis_PropertyReplacementMode_VS]には次のコードが定義されている。</p> <p>コード値 表示値 #0 “前補液” #1 “後補液”</p>
透析液流量 透析液流量	property:dialysisFlowRate	BackboneElement	0..1	<p>透析液流量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #TC-D7 を指定する。 [-.type.coding.display]に“透析液流量”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に透析液流量を設定する。 [-.valueQuantity.unit]に“milliliter per minute”を指定する。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に # mL/min を指定する。</p>

血流量 血流量	property:bloodFlowRate	BackboneElement	0..1	<p>血流量</p> <p>[-type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-D6 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“血流量”を指定す る。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に血流量を設定する。 [-.valueQuantity.unit]に“milliliter per minute”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に# mL/min を指定す る。</p>
目標補液量 目標補液量	property:replacementVol	BackboneElement	0..1	<p>目標補液量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の#T1 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“目標補液量”を指定 する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に目標補液量を設定 する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter”を指定する。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に# L を指定する。</p>
補液速度 補液速度	property:replenishmentRate	BackboneElement	0..1	<p>補液速度</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-C7 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“補液速度”を指定す る。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に補液速度を設定す る。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“liter per hour”、も しくは“mililiter per minuite”を指定する。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に# L/h、もしくは # ml/min を指定する。</p>

DW (ドライウェイト) DW (ドライウェイト)	property:dw	BackboneElement	0..1	<p>DW(ドライウェイト)</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-D3 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“DW”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に DW を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“kilogram”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に #kg を指定する。</p>
透析液 透析液	property:dialysisFluid	BackboneElement	0..1	<p>透析液</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #T2 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析液”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に透析液の名称を設定する。</p> <p>以降は透析液を含んだ適切なコードシステムを適用する、もしくは新たに透析液がコード化された場合、[-.valueCode.coding.system]に[透析液などのコードを含んだコードシステム]の URI を指定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.code]に vs[透析液などのコードを含んだバリューセット]から選択したコード値を設定する。</p> <p>[-.valueCode.coding.display]に選択したコード値の表示値を指定する。</p>

抗凝固剤 初回量	property:anticoagulantInitial	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の初回量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #TC-D4 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤初回量”を 指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の初回量 を整数で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に、抗凝固剤がヘパリン の場合は、“international unit” を、ヘパリンでな い場合は、“milligram” を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に、抗凝固剤がヘパリン の場合は、#IU を、ヘパリンでない場合は、#mg を 指定する。</p>
抗凝固剤 持続量	property: anticoagulantDuration	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の持続量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #TC-C8 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤持続量”を 指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の持続量 を設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に、抗凝固剤がヘパリン の場合は、“international unit per hour” を、ヘ パリンでない場合は、“milligram per hour”を指 定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に、抗凝固剤がヘパリン の場合は、# [IU]/h を、ヘパリンでない場合は、 #mg/h を指定する。</p>

抗凝固剤 総量	property: anticoagulantTotal	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の総量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の#T3 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤総量”を指 定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の総量を 設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に抗凝固剤がヘパリンの 場合は、“international unit” を、ヘパリンでない場 合は、“milligram” を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に抗凝固剤がヘパリンの 場合は、#IU を、ヘパリンでない場合は、#mg を指 定する。</p>
抗凝固剤 事前停止	property: anticoagulantPreStop	BackboneElement	0..1	<p>抗凝固剤の事前停止</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-D5 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“抗凝固剤事前停 止”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に抗凝固剤の事前停 止を整数で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“minute”を整数で指 定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#min を指定する。</p>

除水 除水速度上限 ml/時	property:ultrafiltrationRateMax	BackboneElement	0..1	<p>除水速度上限</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-C4 を指定する。 [-.type.coding.display]に“除水速度上限”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に除水速度上限を整数部 1 桁小数部 2 桁で設定する。 [-.valueQuantity.unit]に“milliliter per hour”を整数で指定する。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に #mL/h を指定する。</p>
除水 除水パターン	property:ultrafiltrationPattern	BackboneElement	0..1	<p>除水パターン</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #T4 を指定する。 [-.type.coding.display]に“除水パターン”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に除水パターン名を設定する。</p> <p>以降は、除水パターンがコード化された場合、 [-.valueCode.coding.system]に[除水パターンのコードを含んだコードシステム]の URI を指定する。 [-.valueCode.coding.code]に vs[除水パターンのコードを含んだバリュースセット]から選択したコード値を設定する。 [-.valueCode.coding.display]に選択したコード値の表示値を指定する。</p>

除水 除水時間	property:ultrafiltrationTime	BackboneElement	0..1	<p>除水時間</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #TC-C2 を指定する。 [-.type.coding.display]に“除水時間”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に除水時間を整数で 設定する。 [-.valueQuantity.unit]に“minute”を整数で指 定する。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に#min を指定する。</p>
除水 除水量上限	property:ultrafiltrationVolumeMax	BackboneElement	0..1	<p>除水量上限</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #TC-C3 を指定する。 [-.type.coding.display]に“除水量上限”を指定 する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に除水量上限を整数 で設定する。 [-.valueQuantity.unit]に“liter”を整数で指定す る。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に#L を指定する。</p>
静脈圧 静脈圧	property:vp	BackboneElement	0..1	<p>静脈圧</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の#T5 を指定する。 [-.type.coding.display]に“静脈圧”を指定す る。</p> <p>[-.valueCode.text]に静脈圧の範囲の下限値と 上限値を文字列で設定する。</p>

透析液圧 透析液圧	property:dialysatePressure	BackboneElement	0..1	<p>透析液圧</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の#T6 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析液圧”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に透析液圧の範囲の上限値 と下限値を文字列で設定する。</p>
透析温度 透析温度	property:dialysisTemp	BackboneElement	0..1	<p>透析温度</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #TC-C9 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析温度”を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に透析温度を整数部 2 桁、小数部 1 桁で設定する。</p> <p>[-.valueQuantity.unit]に“degree Celsius”を 整数で指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity.code]に#Cel を指定する。</p>
補足事項 補足事項	property:supplement	BackboneElement	0..1	<p>補足事項</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Devcie_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Devcie_Dialysis_Property_VS]の #CM-DB を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“補足事項”を指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に補足事項を設定する。</p>

実績除水量 実績除水量	property:actualUltrafiltrationVol	BackboneElement	0..1	<p>実績除水量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #MS-CB を指定する。 [-.type.coding.display]に“実績除水量”を指定 する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に実績除水量を設定 する。 [-.valueQuantity.unit]に“liter”を整数で指定す る。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に#L を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity]を使用せず、 [-.valueCode.text]に文字列で実績除水量を設 定することも可。</p>
実績補液量 実績補液量	property:actualReplacementVol	BackboneElement	0..1	<p>実績補液量</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。 [-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の #MC-CP を指定する。 [-.type.coding.display]に“実績補液量”を指定 する。</p> <p>[-.valueQuantity.value]に実績補液量を設定 する。 [-.valueQuantity.unit]に“liter”を整数で指定す る。 [-.valueQuantity.system]に UCUM の URL(http://unitsofmeasure.org)を指定する。 [-.valueQuantity.code]に#L を指定する。</p> <p>[-.valueQuantity]を使用せず、 [-.valueCode.text]に文字列で実績補液量を設 定することも可。</p>

透析最終実施日 透析最終実施日	property:dialysisLastDate	BackboneElement	0..1	<p>透析最終実施日</p> <p>[-.type.coding.system]に cs[JP_Device_Dialysis_Property_CS]の URI を指定する。</p> <p>[-.type.coding.code]に vs[JP_Device_Dialysis_Property_VS]の#T8 を指定する。</p> <p>[-.type.coding.display]に“透析最終実施日”を 指定する。</p> <p>[-.valueCode.text]に透析最終実施日を設定す る。</p>
	deviceName	BackboneElement	0..*	<p>血液透析装置もしくはダイアライザの名称</p> <p>この機器が血液透析装置の場合、 [JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis.focalDevice.manipulated]から参照される。</p> <p>この機器がダイアライザの場合、[-.property]要素 は、使用しない。また、 [JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis.use dReference]から参照される。</p> <p>[-.name]に血液透析装置、もしくはダイアライザ名 を設定する。</p> <p>[-.type]に vs[DeviceNameType]から選択した コード値を設定する。</p>

6. コードシステム及びバリューセット

ここでは、透析情報標準規格で定義したコードシステム 12 個、バリューセット 13 個を示す。バリューセットは 1 つを除いてコードシステムのすべてのコードを含む。バリューセットの各コードのコードシステムの URI は仮として <http://example.org/CodeSystem/> から始まる URL としているが、おつて改訂される。

① アレルギー・不適合反応の有無を表すコード

コードシステム : JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ReactionPresence_CS

コード値	表示値	定義
yes	あり	あり
no	なし	なし
unknown	不明	不明

バリューセット : JP_AllergyIntolerance_Dialysis_ReactionPresence_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
yes	http://example.org/CodeSystem/jp-allergy-intolerance-dialysis-reaction-presence-cs	あり	あり
no	http://example.org/CodeSystem/jp-allergy-intolerance-dialysis-reaction-presence-cs	なし	なし
unknown	http://example.org/CodeSystem/jp-allergy-intolerance-dialysis-reaction-presence-cs	不明	不明

② 文書のセクションコード

コードシステム : JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_CS

コード値	表示値		定義
medicalFacility	医療施設情報		
patient	患者情報		
clinicalInfo	診療情報		
condition	透析条件		

バリューセット : JP_Composition_Dialysis_DocumentSection_VS

コード値	コードシステム	表示値
medicalFacility	http://example.org/CodeSystem/jp-composition-dialysis-document-section-cs	医療施設情報
patient	http://example.org/CodeSystem/jp-composition-dialysis-document-section-cs	患者情報
clinicalInfo	http://example.org/CodeSystem/jp-composition-dialysis-document-section-cs	診療情報
condition	http://example.org/CodeSystem/jp-composition-dialysis-document-section-cs	透析条件

③ 血液透析装置が取り扱うデータのコード

「血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0」(日本透析医学会)に準じてコードを定義している。

コードシステム : JP_Device_Dialysis_Property_CS

コード値	表示値	定義
TC-C1	透析時間	透析時間は、0～599の数値で単位は min
TC-B3	透析形式	透析形式（治療モード）は、0：HD, 1：ECUM, 2：HDF, 3：HF, 4：OHDF（オンライン HDF）, 5：I-HDF, 6：O/I-HDF（オンライン I-HDF）, 7：予備（未使用）
TC-D1	補液モード	補液モード(補液選択)は、0：前補液（前希釈）, 1：後補液（後希釈）
TC-D7	透析液流量	透析液流量は、0～1000の数値で単位は mL/min。オンライン HDF の場合は、補液分量を含む値とする。
TC-D6	血流量	血流量は、0～600の数値で単位は mL/min
T1	目標補液量	目標補液量は、数値で単位は L。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T1 としている。
TC-C7	補液速度	補液速度は、単位は透析装置に依存し、#L/h(liter per hour) もしくは #ml/min(mililiter per minuite) のどちらかになる。単位が #L の場合、0～24.0の数値
TC-D3	DW	適正体重（ドライウェイト）。DW は、0～300.00の数値で単位は kg
T2	透析液	透析液は透析液の名称もしくはコード。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T2 としている。
TC-D4	抗凝固剤初回量	抗凝固剤初回量（シリンジポンプワンショット量）は、0～20.0の数値で単位は mL
TC-C8	抗凝固剤持続量	抗凝固剤持続量（シリンジポンプ速度）は、0～10.0の数値で単位は mL/h
T3	抗凝固剤総量	抗凝固剤総量は、数値で単位は mL。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T3 としている。
TC-D5	抗凝固剤事前停止	抗凝固剤事前停止（シリンジポンプ自動停止時間）は、0～120の数値で単位は min
TC-C4	除水速度上限	除水速度(除水速度)。0～4.00の数値で単位は L/h
T4	除水パターン	除水パターンは、パターンの名称もしくはコード。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T4 としている。
TC-C2	除水時間	除水時間は、0～599の数値で単位は min
TC-C3	除水量上限	除水量上限（目標除水量）は、0～9.99の数値で単位は L
T5	静脈圧	静脈圧は、数値。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T5 としている。
T6	透析液圧	透析液圧は、数値。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T6 としている。
TC-C9	透析温度	透析温度(透析液温度)は、33.0～40.0の数値で単位は ℃
CM-DB	補足事項	血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T7 としている。
MS-CB	実績除水量	実績浄水量（現在除水量）は、0～9.99の数値で単位は L
MS-CP	実績補液量	実績帆液量（現在補液量）は、0～99.9の数値で単位は L
T8	透析最終実施日	透析最終実施日は、日付書式の文字列。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T8 としている。

バリエーション : JP_Device_Dialysis_Property_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
TC-C1	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析時間	透析時間は、0～599の数値で単位は min
TC-B3	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析形式	透析形式（治療モード）は、0：HD, 1：ECUM, 2：HDF, 3：HF, 4：OHDF（オンライン HDF）, 5：I-HDF, 6：O/I-HDF（オンライン I-HDF）, 7：予備（未使用）
TC-D1	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	補液モード	補液モード(補液選択)は、0：前補液（前希釈）, 1：後補液（後希釈）
TC-D7	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析液流量	透析液流量は、0～1000の数値で単位は mL/min。オンライン HDF の場合は、補液分量を含む値とする。

TC-D6	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	血流量	血液流量は、0～600 の数値で単位は mL/min
T1	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	目標補液量	目標補液量は、数値で単位は L。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T1 とした。
TC-C7	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	補液速度	補液速度は、単位は透析装置に依存し、#L/h(liter per hour) もしくは #ml/min(milliliter per minute) のどちらかになる。単位が #L の場合、0～24.0 の数値
TC-D3	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	DW	適正体重（ドライウェイト）。DW は、0～300.00 の数値で単位は kg
T2	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析液	透析液は透析液の名称もしくはコード。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T2 としている。
TC-D4	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	抗凝固剤初回量	抗凝固剤初回量（シリンジポンプワンショット量）は、0～20.0 の数値で単位は mL
TC-C8	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	抗凝固剤持続量	抗凝固剤持続量（シリンジポンプ速度）は、0～10.0 の数値で単位は mL/h
T3	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	抗凝固剤総量	抗凝固剤総量は、数値で単位は mL。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T3 としている。
TC-D5	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	抗凝固剤事前停止	抗凝固剤事前停止（シリンジポンプ自動停止時間）は、0～120 の数値で単位は min
TC-C4	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	除水速度上限	除水速度(除水速度)。0～4.00 の数値で単位は L/h
T4	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	除水パターン	除水パターンは、パターンの名称もしくはコード。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T4 としている。
TC-C2	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	除水時間	除水時間は、0～599 の数値で単位は min
TC-C3	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	除水量上限	除水量上限（目標除水量）は、0～9.99 の数値で単位は L
T5	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	静脈圧	静脈圧は、数値。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T5 としている。
T6	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析液圧	透析液圧は、数値。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T6 としている。
TC-C9	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析温度	透析温度(透析液温度)は、33.0～40.0 の数値で単位は ℃
CM-DB	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	補足事項	血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T7 としている。
MS-CB	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	実績除水量	実績浄水量（現在除水量）は、0～9.99 の数値で単位は L
MS-CP	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	実績補液量	実績帆液量（現在補液量）は、0～99.9 の数値で単位は L
T8	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-cs	透析最終実施日	透析最終実施日は、日付書式の文字列。血液透析装置に関する通信共通プロトコル Ver. 4.0 には記載がないため仮にコードを #T8 としている。

④ 透析形式のコード

コードシステム : JP_Device_Dialysis_PropertyDialysisMode_CS

コード値	表示値	定義
0	HD	HD
1	ECUM	ECUM
2	HDF	HDF
3	HF	HF
4	OHDF(オンライン HDF)	OHDF(オンライン HDF)
5	I-HDF	I-HDF
6	O/I-HDF(オンライン I-HDF)	O/I-HDF(オンライン I-HDF)
7	予備 (未使用)	予備 (未使用)

バリューセット : JP_Device_Dialysis_PropertyDialysisMode_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
0	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	HD	HD
1	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	ECUM	ECUM
2	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	HDF	HDF
3	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	HF	HF
4	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	OHDF(オンライン HDF)	OHDF(オンライン HDF)
5	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	I-HDF	I-HDF
6	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	O/I-HDF(オンライン I-HDF)	O/I-HDF(オンライン I-HDF)
7	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-dialysis-mode-cs	予備 (未使用)	予備 (未使用)

⑤ 補液モードのコード

コードシステム : JP_Device_Dialysis_PropertyReplacementMode_CS

コード値	表示値	定義
0	前補液	前補液 (前希釈)
1	後補液	後補液 (後希釈)

バリューセット : JP_Device_Dialysis_PropertyReplacementMode_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
0	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-replacement-mode-cs	前補液	前補液 (前希釈)
1	http://example.org/CodeSystem/jp-device-dialysis-property-replacement-mode-cs	後補液	後補液 (後希釈)

⑥ 投与薬剤の分類のコード

コードシステム : JP_MedicationAdministration_Dialysis_MedicationClass_CS

コード値	表示値	定義
esa	ESA 薬剤	ESA 薬剤
vitamin	ビタミン D 製剤	ビタミン D 製剤
calcimimetics	カルシミメティクス	カルシミメティクス
iron	鉄製剤	鉄製剤
carnitine	カルニチン製剤	カルニチン製剤
other	その他	その他の薬剤

バリューセット : JP_MedicationAdministration_Dialysis_MedicationClass_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
esa	http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs	ESA 薬剤	ESA 薬剤
vitamin	http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs	ビタミン D 製剤	ビタミン D 製剤
calcimimetics	http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs	カルシミメティクス	カルシミメティクス
iron	http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs	鉄製剤	鉄製剤
carnitine	http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs	カルニチン製剤	カルニチン製剤
other	http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs	その他	その他の薬剤

⑦ ADL 動作項目コード

コードシステム : JP_Observation_Dialysis_ADL_Code_CS

コード値	表示値	定義
mobility	移送	移送

バリューセット : JP_Observation_Dialysis_ADL_Code_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
mobility	http://example.org/CodeSystem/jp-observation-dialysis-adl-code-cs	移送	移送

⑧ ADL 移送動作の評価コード

コードシステム : JP_Observation_Dialysis_ADL_ValueOfMobility_CS

コード値	表示値	定義
onfoot	独歩	自力避難が可能な患者
escort	護送	移動に介助を必要とする患者。基本的には介助者は 1 名であり、主に車いすを使って搬送する。
carried	担送	自力での移動が困難な患者。基本的には介助者は 2 名であり、主にベッドやストレッチャーを使って搬送する。
undefined	未定義	独歩、護送、担送、のいずれにも該当しない場合

バリューセット : JP_Observation_Dialysis_ADL_ValueOfMobility_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
onfoot	http://example.org/CodeSystem/jp-observation-dialysis-adl-value-of-mobility-cs	独歩	自力避難が可能な患者
escort	http://example.org/CodeSystem/jp-observation-dialysis-adl-value-of-mobility-cs	護送	移動に介助を必要とする患者。基本的には介助者は 1 名であり、主に車いすを使って搬送する。
carried	http://example.org/CodeSystem/jp-observation-dialysis-adl-value-of-mobility-cs	担送	自力での移動が困難な患者。基本的には介助者は 2 名であり、主にベッドやストレッチャーを使って搬送する。
undefined	http://example.org/CodeSystem/jp-observation-dialysis-adl-value-of-mobility-cs	未定義	独歩、護送、担送、のいずれにも該当しない場合

⑨ 血液型 ABO のコード

JAHIS データ交換規約(共通編)Ver.1.3 JHSC 表 0001 ABO 血液型のコードシステム (OID: 1.2.392.200270.4.4.1.1) に準じる。

コードシステム : JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO_CS

コード値	表示値
A	A 型
B	B 型
O	O 型
AB	AB 型
U	不明

バリューセット : JP_Observation_Dialysis_BloodTypeABO_VS

コード値	コードシステム	表示値
A	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1	A 型
B	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1	B 型
O	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1	O 型
AB	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1	AB 型
U	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1	不明

⑩ 血液型 Rh のコード

JAHIS データ交換規約(共通編)Ver.1.3 JHSC 表 0002 Rh 血液型のコードシステム (OID: 1.2.392.200270.4.4.1.2) に準じる。

コードシステム : JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh_CS

コード値	表示値
+	Rh(+)型
-	Rh(-)型
U	不明

バリューセット : JP_Observation_Dialysis_BloodTypeRh_VS

コード値	コードシステム	表示値
+	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.2	Rh(+)型
-	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.2	Rh(-)型
U	urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.2	不明

⑪ 感染症検査のコード

透析情報標準規格 HL7 FHIR 記述仕様における診療情報の 6 感染症検査のコードのバリューセット

バリューセット : JP_Observation_Dialysis_InfectionTest_VS

コード値	表示値	定義
5F016141002305111	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HBsAg)検査
5F016143002305111	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HBsAb)検査
5F018143002305111	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HBcAb)検査
5F015144102386211	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HBV DNA)検査
5F360148002305111	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HCV Ab)検査
5F360145302300011	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HCV RNA)検査
5F500143002305111	urn:oid:1.2.392.200119.4.504	感染症(HIV Ab)検査

⑫ 患者識別子のタイプコード

コードシステム : JP_Patient_Dialysis_IdentifierType_CS

コード値	表示値	定義
facilityPatientId	医療施設患者 ID	医療施設の患者番号(電カル番号)
insurerNumber	保険者番号	社会保険（健康保険）を運営する主体である保険者ごとに割り振られた 6 桁または 8 桁の番号
insuredPersonNumber	被保険者番号	健康保険の被保険者に割り振られた個人番号

バリューセット ; JP_Patient_Dialysis_IdentifierType_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
facilityPatientId	http://example.org/CodeSystem/jp-patient-dialysis-identifier-type-cs	医療施設 患者 ID	医療施設の患者番号(電カル番号)
insurerNumber	http://example.org/CodeSystem/jp-patient-dialysis-identifier-type-cs	保険者番 号	社会保険（健康保険）を運営する主体である 保険者ごとに割り振られた 6 桁または 8 桁の番 号
insuredPersonNumber	http://example.org/CodeSystem/jp-patient-dialysis-identifier-type-cs	被保険者 番号	健康保険の被保険者に割り振られた個人番号

⑬ バスキュラーアクセスと穿刺の要素コード

コードシステム : JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent_CS

コード値	表示値	定義
type	バスキュラーアクセス形式	バスキュラーアクセスの形式
place1	バスキュラーアクセス場所 1	バスキュラーアクセスの場所 1
place2	バスキュラーアクセス場所 2	バスキュラーアクセスの場所 2
A	穿刺 A 側	穿刺 A 側
V	穿刺 V 側	穿刺 V 側
transfer	穿刺に関する申し送り事項	穿刺に関する申し送り事項

バリューセット : JP_Procedure_Dialysis_Hemodialysis_FollowUpContent_VS

コード値	コードシステム	表示値	定義
type	http://example.org/CodeSystem/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content-cs	バスキュラーアクセス形式	バスキュラーアクセスの形式
place1	http://example.org/CodeSystem/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content-cs	バスキュラーアクセス場所 1	バスキュラーアクセスの場所 1
place2	http://example.org/CodeSystem/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content-cs	バスキュラーアクセス場所 2	バスキュラーアクセスの場所 2
A	http://example.org/CodeSystem/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content-cs	穿刺 A 側	穿刺 A 側
V	http://example.org/CodeSystem/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content-cs	穿刺 V 側	穿刺 V 側
transfer	http://example.org/CodeSystem/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content-cs	穿刺に関する申し送り事項	穿刺に関する申し送り事項

7. 付録

1. 施設情報のリソース記述例

医療施設番号			1234567890
医療施設名			〇〇クリニック
医療施設住所	郵便場合		1231234
	都道府県		大阪府
	市町村		大阪市
	市町村以降		南区梅山 1 - 1 - 1
医療施設連絡先	電話番号		06-1234-1234
	FAX 番号		06-1234-1234
担当医名	姓漢字		大阪
	名漢字		太郎
	姓カナ		オオサカ
	名カナ		タロウ
担当者連絡先	担当者名	姓漢字	山本
		名漢字	一郎
		姓カナ	ヤマモト
		名カナ	イチロウ
	医療施設連絡先メールアドレス		ichiro.yamamoto@marumaruclinic.com

Organization (医療施設)

```
{
  "resourceType": "Organization",
  "id": "jp-organization-dialysis-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-organization-dialysis"
    ]
  },
  "extension": [
    {
      "valueCoding": {
        "system": "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.21",
        "code": "27",
        "display": "大阪府"
      },
      "url":
"http://jpfhir.jp/fhir/core/Extension/StructureDefinition/JP_Organization_PrefectureNo"
    }
  ],
  "identifier": [
    {
      "system": "http://jpfhir.jp/fhir/core/IdSystem/insurance-medical-institution-no",
      "value": "1234567890"
    }
  ],
  "telecom": [
    {
      "system": "phone",
      "value": "06-1234-1234"
    },
    {
      "system": "fax",
      "value": "06-1234-1234"
    }
  ]
},
```



```

"address": [
  {
    "line": [
      "南区梅山1-1-1"
    ],
    "postalCode": "1231234",
    "city": "大阪市"
  }
],
"contact": [
  {
    "name": {
      "extension": [
        {
          "url": "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation",
          "valueCode": "IDE"
        }
      ],
      "given": [
        "一郎"
      ],
      "family": "山本"
    },
    "telecom": [
      {
        "system": "email",
        "value": "ichiro.yamamoto@marumaruclinic.com"
      }
    ]
  }
],
"name": "〇〇クリニック"
}

```

Practitioner (担当医)

```

{
  "resourceType" : "Practitioner",
  "id" : "jp-practitioner-dialysis-example-01",
  "meta" : {
    "profile" : ["http://example.org/StructureDefinition/jp-practitioner-dialysis"]
  },
  "text" : {
    "status" : "generated",
    "div" : "<div xmlns=\"http://www.w3.org/1999/xhtml\">医療従事者:オオサカ タロウ</div>"
  },
  "name" : [{
    "extension" : [{
      "url" : "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation",
      "valueCode" : "IDE"
    }],
    "family" : "大阪",
    "given" : ["太郎"]
  }],
  {
    "extension" : [{
      "url" : "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation",
      "valueCode" : "SYL"
    }],
    "family" : "オオサカ",
    "given" : ["タロウ"]
  }
}

```

2. 患者情報のリソース記述例

医療施設患者 ID			1000000
保険者番号:			99999
被保険者番号			2345678
患者氏名	姓 (漢字)		千里
	名 (漢字)		中央
	姓 (カナ)		センリ
	名 (カナ)		ナカオ
性別			男性
生年月日			1967-07-21
年齢			56
電話番号	自宅		06-6666-9999
	携帯		090-4321-1234
患者住所	都道府県		大阪府
	市町村		大阪市
	市町村以降		西区西山 1 丁目 1 番 1 号
緊急連絡先	氏名	姓	千里
		名	中子
	電話番号	番号	080-1111-2222
		種別	携帯
血液型 ABO			A 型
血液型 Rh			Rh(+)型

Patient（患者）

```
{
  "resourceType" : "Patient",
  "id" : "jp-patient-dialysis-example-01",
  "meta" : {
    "profile" : ["http://example.org/StructureDefinition/jp-patient-dialysis"]
  },
  "text" : {
    "status" : "generated",
    "div" : "<div xmlns=\"http://www.w3.org/1999/xhtml\">患者：ナカオ センリ</div>"
  },
  "extension" : [{
    "url" : "http://example.org/StructureDefinition/dialysis-patient-age",
    "valueUnsignedInt" : 56
  }],
  "identifier" : [{
    "type" : {
      "coding" : [{
        "system" : "http://example.org/CodeSystem/dialysis-patient-identifier-type-cs",
        "code" : "facilityPatientId",
        "display" : "医療施設患者 ID"
      }]
    },
    "value" : "1000000"
  }],
  {
    "type" : {
      "coding" : [{
        "system" : "http://example.org/CodeSystem/dialysis-patient-identifier-type-cs",
        "code" : "insurerNumber",
        "display" : "保険者番号"
      }]
    },
    "value" : "99999"
  }
],
}
```

```

{
  "type" : {
    "coding" : [{
      "system" : "http://example.org/CodeSystem/dialysis-patient-identifier-type-cs",
      "code" : "insuredPersonNumber",
      "display" : "被保険者番号"
    }]
  },
  "value" : "2345678"
},
{
  "name" : [{
    "extension" : [{
      "url" : "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation",
      "valueCode" : "SYL"
    }],
    "family" : "センリ",
    "given" : ["ナカオ"]
  }],
  {
    "extension" : [{
      "url" : "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation",
      "valueCode" : "IDE"
    }],
    "family" : "千里",
    "given" : ["中央"]
  }],
  "telecom" : [{
    "system" : "phone",
    "value" : "06-6666-9999",
    "use" : "home"
  }],
  {
    "system" : "phone",
    "value" : "090-4321-1234",
    "use" : "mobile"
  }],
  "gender" : "male",
  "birthDate" : "1967-07-21",
  "address" : [{
    "extension" : [{
      "url" : "http://example.org/StructureDefinition/jp-patient-dialysis-address-prefecture-no",
      "valueCoding" : {
        "system" : "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.21",
        "code" : "27",
        "display" : "大阪府"
      }
    }],
    "line" : ["西区西山1丁目1番1号"],
    "city" : "大阪市"
  }],
  "contact" : [{
    "relationship" : [{
      "coding" : [{
        "system" : "http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v2-0131",
        "code" : "N",
        "display" : "Next-of-Kin"
      }]
    }],
    "name" : {
      "family" : "千里",
      "given" : ["中子"]
    },
    "telecom" : [{
      "system" : "phone",
      "value" : "080-1111-2222",
      "use" : "mobile"
    }]
  }],
}

```

Observation (血液型 ABO)

```
{
  "resourceType" : "Observation",
  "id" : "jp-observation-dialysis-bloodtype-abo-example-01",
  "meta" : {
    "profile" : ["http://example.org/StructureDefinition/jp-observation-dialysis-blood-type-abo"]
  },
  "text" : {
    "status" : "generated",
    "div" : "<div xmlns=\"http://www.w3.org/1999/xhtml\">A 型</div>"
  },
  "status" : "final",
  "code" : {
    "coding" : [{
      "system" : "urn:oid:1.2.392.200119.4.504",
      "code" : "5H010000001910114",
      "display" : "血液型-ABO 式"
    }]
  },
  "subject" : {
    "reference" : "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  },
  "valueCodeableConcept" : {
    "coding" : [{
      "system" : "urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.1",
      "code" : "A",
      "display" : "A 型"
    }]
  }
}
```

Observation (血液型 Rh)

```
{
  "resourceType" : "Observation",
  "id" : "jp-observation-dialysis-bloodtype-rh-example-01",
  "meta" : {
    "profile" : ["http://example.org/StructureDefinition/jp-observation-dialysis-blood-type-rh"]
  },
  "text" : {
    "status" : "generated",
    "div" : "<div xmlns=\"http://www.w3.org/1999/xhtml\">Rh(+)型</div>"
  },
  "status" : "final",
  "code" : {
    "coding" : [{
      "system" : "urn:oid:1.2.392.200119.4.504",
      "code" : "5H020000001910114",
      "display" : "血液型-Rh 式"
    }]
  },
  "subject" : {
    "reference" : "jp-patient-dialysis-example-01"
  },
  "valueCodeableConcept" : {
    "coding" : [{
      "system" : "urn:oid:1.2.392.200270.4.4.1.2",
      "code" : "+",
      "display" : "Rh(+)型"
    }]
  }
}
```

3. 透析条件のリソース記述例

発信施設における透析開始日		2015-01-01
発信施設における最終透析日		2022-12-02
透析曜日		月水金
透析装置		モデル名：透析用監視装置 NCV-3AQ type A
透析時間		240 min
透析形式		HD
補液モード		前補液
透析液流量		130 mL/min
血流量		200 mL/min
目標補液量		100 L
補液速度		48.5 mL/min
ダイアライザ		モデル名：APS-15SA
DW		48.7 kg
前回終了時体重		48.9 kg
透析液		キンダリー
抗凝固剤	抗凝固剤	ヘパリン
	初回量	1000 iU
	持続量	500 [iU]/h
	総量	3000 iU
	事前停止	10 min
除水	除水速度上限	210 mL/h
	除水パターン	フラット
	除水時間	4 min
	除水量上限	2 L
投与薬剤	ESA	
	ビタミン D 製剤	
	カルシメテックス	
	鉄製剤	
	カルチニン製剤	
	その他	月水金：マキサカルシトール静注透析用シリンジ 2.5μg 1mL 月：ダルベベエチナルファ注 10μg シリンジ 0.5mL
バスキュラーアクセス	形式	内シャント
	場所 1	右上肢
	場所 2	前腕
バスキュラーアクセス手術日		2022-01-01
最終 PTA		2022-01-01
穿刺	穿刺針 A 側	17G（ヘモラル針）
	穿刺針 V 側	17G（ペインレスニードル）
	穿刺に関する申し送り事項	
静脈圧		110-130
透析液圧		120-140
透析温度		36.0 ℃
補足事項		除水 MAX0.6L/h まで
実績除水量		2.2 L
実績補液量		14.5 L
透析最終実施日		2022-12-02

Procedure（血液透析の上位措置）

```
{
  "resourceType": "Procedure",
  "id": "jp-procedure-dialysis-treatment-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-treatment"
    ]
  },
  "basedOn": [
    {
      "reference": "jp-observation-dialysis-service-request-example-01"
    }
  ],
  "code": {
    "text": "血液透析をまとめる上位の処置"
  },
  "performedPeriod": {
    "start": "2015-01-01",
    "end": "2022-01-01"
  },
  "status": "completed",
  "subject": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  }
}
```

ServiceRequest（透析曜日）

```
{
  "resourceType": "ServiceRequest",
  "id": "jp-service-request-dialysis-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-service-request-dialysis"
    ]
  },
  "occurrenceTiming": {
    "repeat": {
      "dayOfWeek": [
        "mon",
        "wed",
        "fri"
      ]
    }
  },
  "code": {
    "text": "月水金"
  },
  "status": "completed",
  "intent": "order",
  "subject": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  }
}
```

Procedure（血液透析）

```
{
  "resourceType": "Procedure",
  "id": "jp-procedure-dialysis-hemodialysis-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis"
    ]
  },
  "partOf": [
    {
      "reference": "jp-procedure-dialysis-treatment-example-01"
    }
  ],
  "code": {
    "text": "血液透析"
  },
  "followUp": [
    {
      "extension": [
        {
          "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content",
          "valueString": "内シャント"
        }
      ],
      "coding": [
        {
          "code": "type",
          "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-hemodialysis-follow-up-cs",
          "display": "バスキュラーアクセス形式"
        }
      ]
    },
    {
      "extension": [
        {
          "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content",
          "valueString": "右上肢"
        }
      ],
      "coding": [
        {
          "code": "place1",
          "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-hemodialysis-follow-up-cs",
          "display": "バスキュラーアクセス場所 1"
        }
      ]
    },
    {
      "extension": [
        {
          "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content",
          "valueString": "前腕"
        }
      ],
      "coding": [
        {
          "code": "place2",
          "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-hemodialysis-follow-up-cs",
          "display": "バスキュラーアクセス場所 2"
        }
      ]
    },
    {
      "extension": [
        {
          "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content",
          "valueString": "17G（ヘモラル針）"
        }
      ],
      "coding": [
        {
          "code": "a",

```

```

    "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-hemodialysis-follow-up-cs",
    "display": "穿刺 A 側"
  }
},
{
  "extension": [
    {
      "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content",
      "valueString": "17G (ペインレスニードル) "
    }
  ],
  "coding": [
    {
      "code": "v",
      "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-hemodialysis-follow-up-cs",
      "display": "穿刺 v 側"
    }
  ]
},
{
  "extension": [
    {
      "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-follow-up-content",
      "valueString": ""
    }
  ],
  "coding": [
    {
      "code": "transfer",
      "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-hemodialysis-follow-up-cs",
      "display": "穿刺に関する申し送り事項"
    }
  ]
}
],
"focalDevice": [
  {
    "manipulated": {
      "reference": "Device/jp-device-dialysis-hemodialysis-machine-example-01"
    }
  }
],
"usedReference" : [
  {
    "reference" : "Medication/jp-medication-example-01"
  },
  {
    "reference" : "Devcie/jp-device-dialysis-dialyzer-example-01"
  }
],
"status": "completed",
"subject": {
  "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
},
"performedDateTime": "2022-10-15"
}

```


Procedure (バスキュラーアクセス手術)

```
{
  "resourceType": "Procedure",
  "id": "jp-procedure-dialysis-vascular-access-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-vascular-access"
    ]
  },
  "partOf": [
    {
      "reference": "jp-dialysis-treatment-example-01"
    }
  ],
  "code": {
    "text": "バスキュラーアクセス手術"
  },
  "status": "completed",
  "subject": {
    "reference": "jp-dialysis-patient-example-01"
  },
  "performedDateTime": "2022-01-01"
}
```

Procedure (最終 PTA)

```
{
  "resourceType": "Procedure",
  "id": "jp-procedure-dialysis-last-pta-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-procedure-dialysis-last-pta"
    ]
  },
  "partOf": [
    {
      "reference": "jp-procedure-dialysis-treatment-example-01"
    }
  ],
  "code": {
    "text": "PTA"
  },
  "status": "completed",
  "subject": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  },
  "performedDateTime": "2022-01-01"
}
```

MedicationAdministration (投与薬剤、その他 1 つ目)

```
{
  "resourceType": "MedicationAdministration",
  "id": "jp-medication-administration-dialysis-medication-example-06",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-medication-administration-dialysis-medication"
    ]
  },
  "extension": [
    {
      "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-medication-administration-dialysis-medication-class",
      "valueCodeableConcept": {
        "coding": [
          {
            "code": "other",
            "system": "http://example.org/CodeSystem/jp-dialysis-medication-administration-medication-class-cs",
            "display": "その他"
          }
        ]
      }
    }
  ],
  "identifier": [
    {
      "system": "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.81",
      "value": "1"
    },
    {
      "system": "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.82",
      "value": "1"
    }
  ],
  "partOf": [
    {
      "reference": "Procedure/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-example-01"
    }
  ],
  "medicationCodeableConcept": {
    "text": "マキサカルシトール静注透析用シリンジ 2.5µg 1mL"
  },
  "dosage": {
    "text": "月水金"
  },
  "status": "completed",
  "subject": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  },
  "effectiveDateTime": "2015-01-01T00:00:00+09:00"
}
```

MedicationAdministration (投与薬剤、その他 2)

```
{
  "resourceType": "MedicationAdministration",
  "id": "jp-medication-administration-dialysis-medication-example-07",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-medication-administration-dialysis-medication"
    ]
  },
  "extension": [
    {
      "url": "http://example.org/StructureDefinition/jp-medication-administration-dialysis-medication-class",
      "valueCodeableConcept": {
        "coding": [
          {
            "code": "other",
            "system": "http://example.org/CodeSystem/jp-medication-administration-dialysis-medication-class-cs",
            "display": "その他"
          }
        ]
      }
    }
  ],
  "identifier": [
    {
      "system": "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.81",
      "value": "2"
    },
    {
      "system": "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.82",
      "value": "1"
    }
  ],
  "partOf": [
    {
      "reference": "Procedure/jp-procedure-dialysis-hemodialysis-example-01"
    }
  ],
  "medicationCodeableConcept": {
    "text": "ダルベベエチナルファ注 10μg シリンジ 0.5mL"
  },
  "dosage": {
    "text": "月"
  },
  "status": "completed",
  "subject": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  },
  "effectiveDateTime": "2015-01-01T00:00:00+09:00"
}
```

Observation (前回終了時体重)

```
{
  "resourceType": "Observation",
  "id": "jp-observation-dialysis-last-body-weight-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-observation-dialysis-last-body-weight"
    ]
  },
  "valueQuantity": {
    "code": "kg",
    "system": "http://unitsofmeasure.org",
    "unit": "kilogram",
    "value": 48.9
  },
  "status": "final",
  "code": {
    "coding": [
      {
        "code": "9N006000000000001",
        "system": "urn:oid:1.2.392.200119.4.504",
        "display": "体重"
      }
    ]
  },
  "subject": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  }
}
```

Device (透析装置)

```
{
  "resourceType": "Device",
  "id": "jp-device-dialysis-hemodialysis-machine-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-device-dialysis"
    ]
  },
  "deviceName": [
    {
      "name": "透析用監視装置 NCV-3AQ type A",
      "type": "model-name"
    }
  ],
  "type": {
    "text": "透析装置"
  },
  "property": [
    {
      "valueQuantity": [
        {
          "code": "min",
          "system": "http://unitsofmeasure.org",
          "unit": "minute",
          "value": 240
        }
      ],
      "type": {
        "coding": [
          {
            "code": "TC-C1",
            "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
            "display": "透析時間"
          }
        ]
      }
    }
  ],
  "valueCode": [
    {
      "coding": [
        {
          "code": "0",
          "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-mode-cs"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```

    ]
  }
},
{
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-B3",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "透析形式"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueCode": [
    {
      "coding": [
        {
          "code": "0",
          "system": "http://example.org/CodeSystem/dialysis-replacement-mode-cs"
        }
      ]
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-D1",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "補液モード"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "mL/min",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "milliliter per minute",
      "value": 130
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-D7",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "透析液流量"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "mL/min",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "milliliter per minute",
      "value": 200
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-D6",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "血流量"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "L",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "liter",
      "value": 100
    }
  ]
}

```

```

    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "T1",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "目標補液量"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "mL/min",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "mililitter per minute",
      "value": 48.5
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-C7",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "補液速度"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "kg",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "kilogram",
      "value": 48.7
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-D3",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "DW"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueCode": [
    {
      "text": "キンダラー"
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "T2",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "透析液"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "iU",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "international unit",
      "value": 1000
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-D4",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",

```

```

        "display": "抗凝固剤初回量"
    }
  ]
}
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "[iU]/h",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "international unit per hour",
      "value": 500
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-C8",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "抗凝固剤持続量"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "iU",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "international unit ",
      "value": 3000
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "T3",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "抗凝固剤総量"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "min",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "minute",
      "value": 10
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-D5",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "抗凝固剤事前停止"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "mL/h",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "milliliter per hour",
      "value": 210
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-C4",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "除水速度上限"
      }
    ]
  }
}
}

```

```

},
{
  "valueCode": [
    {
      "text": "フラット"
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "T4",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "除水パターン"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "min",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "minute",
      "value": 4
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-C2",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "除水時間"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueQuantity": [
    {
      "code": "L",
      "system": "http://unitsofmeasure.org",
      "unit": "liter",
      "value": 2
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "TC-C3",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "除水量上限"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueCode": [
    {
      "text": "110-130"
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [
      {
        "code": "T5",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "静脈圧"
      }
    ]
  }
},
{
  "valueCode": [
    {
      "text": "120-140"
    }
  ],
  "type": {
    "coding": [

```



```

        "code": "T6",
        "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
        "display": "透析液圧"
    }
}
},
{
    "valueQuantity": [
        {
            "code": "Cel",
            "system": "http://unitsofmeasure.org",
            "unit": "degree Celsius",
            "value": 36
        }
    ],
    "type": {
        "coding": [
            {
                "code": "TC-C9",
                "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
                "display": "透析温度"
            }
        ]
    }
},
{
    "valueCode": [
        {
            "text": "除水 MAX0.6L/h まで"
        }
    ],
    "type": {
        "coding": [
            {
                "code": "CM-DB",
                "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
                "display": "補足事項"
            }
        ]
    }
},
{
    "valueQuantity": [
        {
            "code": "L",
            "system": "http://unitsofmeasure.org",
            "unit": "liter",
            "value": 2.2
        }
    ],
    "type": {
        "coding": [
            {
                "code": "MS-CB",
                "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
                "display": "実績除水量"
            }
        ]
    }
},
{
    "valueQuantity": [
        {
            "code": "L",
            "system": "http://unitsofmeasure.org",
            "unit": "liter",
            "value": 14.5
        }
    ],
    "type": {
        "coding": [
            {
                "code": "MS-CP",
                "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Devcie_Dialysis_Property_CS",
                "display": "実績補液量"
            }
        ]
    }
}
}

```

```

    },
    {
      "valueCode": [
        {
          "text": "2022-12-02"
        }
      ],
      "type": {
        "coding": [
          {
            "code": "T8",
            "system": "http://example.org/CodeSystem/JP_Device_Dialysis_Property_CS",
            "display": "透析最終実施日"
          }
        ]
      }
    }
  ],
  "patient": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  }
}

```

Device (ダイアライザ)

```

{
  "resourceType": "Device",
  "id": "jp-device-dialysis-dialyzer-example-01",
  "meta": {
    "profile": [
      "http://example.org/StructureDefinition/jp-device-dialysis"
    ]
  },
  "deviceName": [
    {
      "name": "APS-15SA",
      "type": "model-name"
    }
  ],
  "type": {
    "text": "ダイアライザ"
  },
  "patient": {
    "reference": "Patient/jp-patient-dialysis-example-01"
  },
  "parent": {
    "reference": "Device/jp-device-dialysis-hemodialysis-machine-example-01"
  }
}

```